

第十二條 町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ數町
 村ノ區域ニ依リ選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉ヲ管理スル町村長ニ之ヲ送付スヘシ
 選舉人其ノ住所チ有スル町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ前項ノ期日マテニ當該行政廳ノ證明
 チ得テ其ノ住所地ノ町村長ニ届出ツヘシ其ノ期限内ニ届出チ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿
 ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉前五十日ヲ期トシ其日ヨリ七日間町村役場又ハ其他ノ場所ニ於テ選舉
 人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前項ノ手續ヲ
 爲スコト能ハスシテ名簿ニ登録セラレサルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ
 場合ニ於テハ町村長ハ其中立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ
 前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其
 ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得
 町村長ハ第三項異議ノ決定ニ依リ又ハ第四項訴願ノ裁決確定シ若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ
 要スルトキハ選舉ノ期日前七日マテニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲スヘシ

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ郡内ノ各選舉區ニ同シ同時ニ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年
 以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ適用ス其ノ郡内一部ノ選舉區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一
 年以内ニ該選舉區ニ於テノミ行フ選舉ニ之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若ハ訴訟ノ判決ニ依
 リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ期日前七日マテニ修正スヘシ
 選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ
 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定裁
 決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス
 確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權チ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修
 正スル限ニ在ラス
 異議ノ決定者ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名
 簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿調製ノ期日縦覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ許可チ得テ郡長之
 チ定ム

◎選舉人名簿ノ確定ハ無資格者ヲシテ有資格者ヲラシムルノ效力ナシ (三三
 一七九號 三四五、三宣告 郡會議員選舉效力ニ關スル訴) (四四卷四九頁)

選挙人ハ選挙會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

◎無資格者カ選挙會場ニ入り一選挙人ノ投票ヲ奪ヒ取りタルノ事實アリトスルモ警察官ノ制止ニ依リ其無資格者ヲ場外ニ退去セシメタル後更ニ用紙ヲ交付シテ投票ヲ爲サシメタルノ事實明確ナル以上ハ該選挙ハ無効ニアラス(三三二年第二三六號
三三三、五、一四宣告)不法決定取消ノ訴(三三六卷四〇頁)

第十五條 選挙ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
投票ハ一人一票ニ限ル

選挙人ハ選挙ノ當日自ら選挙會場ニ到リ選挙人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ
選挙人ハ選挙會場ニ於テ投票用紙ニ自ら被選挙人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選挙人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

自ら被選挙人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス
投票用紙ハ郡長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フヘシ

第二項

◎郡制第十五條第二項ハ一人ニテ二個以上ノ投票ヲ許サ、ル規定ニシテ其

第三項ハ投票施行ノ手續ヲ規定シタルニ過キサレハ選挙人ハ之レカ爲メニ投票權ノ放棄ヲ妨ケラル、コトナシ(三七、六、二二宣告
三七、七、二七號)郡會議員選挙ニ關スル訴(二五輯六卷五三四頁)

第三項

◎投票簿ニ印章ヲ押捺セスシテ捺印ヲ爲シタルハ郡制第十五條第三項ニ違背ス然レトモ之レカ爲メニ選挙人ノ人違ヲ來タサ、ル以上ハ其投票ハ有效ナリ(三三、一、九宣告
三三、一、二〇號)郡會議員選挙ニ關スル訴(四〇卷九三頁)
【同】(三三、三、一、七宣告
三三、三、一、七宣告)違法選挙取消ノ訴(四〇卷八二頁)

第五項

◎郡制第十五條第五項ハ何人カ何人ヲ選挙シタルヤヲ公示セシメサルノ規定ナリ(三三、七、一〇宣告
三三、七、一〇宣告)郡會議員選挙ニ關スル裁決不服ノ訴(三三、九、卷六一頁)

第六項

◎投票用紙ノ形式ハ選挙人ニ周知セシムヘキモノトス(三三、二、三六號
三三、五、一四宣告)不法決

定取消ノ訴(三六卷三九頁)

⑤ 投票用紙ノ式ヲ定ムルハ郡長ノ職責ニシテ成規ノ用紙ヲ用ユヘキハ選舉人ノ義務ナリ(三二年第二三六號 不法決定取消ノ訴)(三六卷三九頁)

⑥ 投票用紙ノ形式ヲ選舉人ニ周知セシメスシテ選舉會場ニ於テ各選舉人ニ之ヲ交付シタルトキハ縱令郡長ノ定メタル式ト異ナル所アリトスルモ此用紙ヲ以テ成規ノ用紙ト爲サ、ル可ラス(三二年第二三六號 不法決定取消ノ訴)(三六卷四〇頁)

第三十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用非サルモノ
- 二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

⑦ 選舉會結了後無効投票アリシコトヲ主張スルニハ其投票ヲ爲シタル當時ニ於テ無効トナルヘキ原因存在ノ確證アルヲ要ス(二四年第八四號 投票ノ效力ニ關スル秋田縣參事會ノ裁決不服ノ訴)

第一號

⑧ 郡長ノ公布シタル形式ノ投票用紙ヲ用ヒサル投票ハ無効トス(三三年第一八七號 郡會議員當選ノ效力ニ關スル縣參事會裁決不服ノ訴)(四二卷七〇頁)

第二號

⑨ 同一選舉區内ニ同氏名ノ者ナキ限りハ同氏名ヲ聯記シタル投票ヲ以テ二名以上ノ被選舉人ヲ記載セシモノト認ムルヲ得ス(三四年第二〇號 郡會議員當選ノ效力ニ關スル訴)(四五卷二一頁)

第三號

◎郡制第十六條第三號ハ投票ノ完備セルト否トニ拘ラス何人ヲ指シタルモ
 ノナルヤ確認シ難キモノヲ無効トスルノ法意ニ外ナラサレハ投票其物ハ
 不完備ナルモ被選舉人ノ何人タルヤヲ確認シ得ヘキモノハ之ヲ有效トス
 ルモ違法ニアラス(三十七年第二七七號 三十八、四、一〇宣告 縣參事會裁決取消請求ノ訴)ハ一六輯三卷
 二二八頁

◎郡制第十六條ニハ被選舉人ノ氏又ハ名ノミヲ記載シタル投票ト雖モ其何
 人タルヲ確認シ得ル以上ハ之ヲ無効トスルヲ得ス(三十七年第一一五號 三十七、一、二、五宣告 縣參事會
 ノ裁決取消ノ訴)ハ一五輯一卷一〇一九頁

◎投票ノ文字ニ誤記アルモ被選舉人ノ何人タルヲ確認シ得ルニ於テハ其投
 票ハ有效ナリ(三十二年第三號 三三、七、一〇宣告 郡會議員選舉ニ關スル裁決不服ノ訴)ハ三九卷
 五六頁

◎投票ノ字體端正ナラス又ハ點畫ヲ缺キ或ハ假字ヲ以テ書シアルモ共ニ何
 人ヲ指シタル投票ナルカヲ確認シ得ルニ依テハ有效ナリ(三十二年第一九七號 郡會
 議員當選效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴)ハ三八卷一二頁

◎投票以外ノ事實證據等ヲ以テ投票ニ記載シタル選舉人ノ何人タルヲ確認
 スルノ資料ニ供スルコトヲ得ス(三十二年第二五九號 三三、五、七宣告 郡會議員選舉效力ニ關スル
 訴)ハ三五卷一〇八頁

◎單ニ氏ノミヲ記シタル投票ハ同一ノ氏ヲ冒シ被選舉權ヲ有スル者數人ア
 ル場合ニ於テハ被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キ投票ナリ(三十二年第五八號 三三、七、一〇宣告
 三九卷一九頁)

◎(同趣旨)單ニ姓ノミヲ記シタル投票ハ甲某ノ得票ナリト確認スルヲ得ス(三十二年第三八號 三三、七、四
 宣告不當裁決取消ノ訴)ハ三八卷二頁

第五號

◎郡會議員選舉ノ投票ニシテ暗ニ選舉人ノ何人タルカヲ示サムトスル寓意
 的記入ヲ爲シタルモノハ法律ニ所謂他事記入ノ投票ナルヲ以テ無効ナリ
 トス(三十八年第三一八號 三九、六、一一宣告 縣參事會裁決取消請求ノ訴)ハ二七輯五卷三四二頁

◎ 郡會議員選舉ノ投票中町名ノ下ニ「住」ノ一字ヲ記載シ又ハ氏名ノ肩ニ郡會議員ノ四字ヲ記載スルモ之ヲ以テ郡制第十六條第五號ニ所謂他事ヲ記入シタルモノト云フヲ得ス(三十七年第二七五號)郡會議員當選ニ關スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴(一六輯三卷三〇〇頁)

◎ 被選舉人ノ氏名ニ衍字アル投票ト雖モ選舉人ノ過誤ニ出タル場合ニハ之ヲ以テ他事ヲ記入シタルモノト云フヲ得ス(三十七年第六一八號)郡會議員當選效力ニ關スル訴(一五輯六卷六二六頁)

◎ 一投票中數次ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載スルモ其何人タルヤヲ確認セシメントスル意思ニ出ツルトキハ之ヲ以テ他事記入ノ投票ナリト謂フヲ得ス(三十四年第八〇號)郡會議員當選ノ效力ニ關スル訴(四五卷二一頁)

◎ 投票用紙ノ裏面ニ算用數字ヲ記入シタルハ郡制第十六條第五號ニ所謂他事記入ノ投票ニシテ之ヲ無効トス(三十三年第二號)郡會議員選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴(三八卷一〇七頁)

第十八條 投票ノ拒否並効力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決ス可シ

第十九條 郡會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ其當選者ヲ定ム

第二十條 同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票ノ數多キ者、投票ノ數相同シキトキハ年長者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第二十一條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ願未チ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名シ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉ノ効力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

◎ 選舉錄ニ立會人ノ署名ナキハ選舉ノ瑕瑾トナラス(三十二年第一〇九號)郡會議員選舉効力ニ關スル訴(四一卷一四頁)

第二十二條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ郡長ニ報告スヘシ

第二十三條 當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ郡長ニ申立ツヘシ
第二十四條 二人ニシテ數選舉區入選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ

選挙ニ應スヘキガチ郡長ニ申立ツヘシ

定期改選増員選挙補選等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ敬選挙ニ當リタルトキハ
前項ノ例ニ依ル

前三項ノ申立テ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六條第七項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス

第二十一條 郡會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選挙ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セサリ
シ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ由テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルト
キハ選挙長抽籤シテ其當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ
者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキハ選挙長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定
ム

第二十二條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ郡長ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示
スヘシ

第二十三條 選挙人選挙者ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選挙ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ

申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡参事會ノ決定ニ付スヘシ

郡長ニ於テ選舉若ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス第二十條第一項ノ
報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ郡参事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條郡参事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣参事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴
スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長選挙ヲ管理スル町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコ
トヲ得

第二一 項

◎ 郡會議員ノ選舉若クハ當選ノ効力ニ關シ選舉人ヨリ異議ノ申立若クハ訴
願ヲ爲シタル場合ニ於テ郡参事會又ハ縣参事會カ其決定若クハ裁決ヲ爲
ス必要アルトキハ選舉會ノ決定セル投票ニシテ當事者間ニ争ナキモノト
雖モ尙ホ開披點檢シ其効力如何ヲ判定シ得ルモノトス (三七年第八八四號
三八年七五第一號 郡
會議員選舉効力ニ關スル訴) (一六輯七卷五九五頁)

第三項

◎郡制第二十三條第三項ニ依リ郡長ニ於テ選舉若クハ當選ノ效力ニ關スル異議ヲ郡參事會ノ決定ニ付スル場合ニハ之カ爲メニ必要ナル投票及關係書類ノ提出ヲ選舉長タル村長ニ命スルノ權ヲ有ス(三三三、三三六、二七五號)不當裁決取消請求ノ訴(三三七卷六八頁)

◎郡長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ郡制第二十三條及郡制第二百五條ノ規定ニ依ルノ外他ニ其途ナキモノトス(三三三、三三六、二七五號)郡會議員選舉ニ關スル訴(三五五卷三七頁)

第四項

◎府縣參事會ニ於テ甲ヲ當選者ト爲シタル郡參事會ノ決定ヲ取消シ乙ヲ當選者ト爲スノ裁決ヲ與ヘタル場合ニ在リテハ甲ヲ當選者ト定メタル選舉會ノ議決ハ自カラ廢棄セラレタルモノトス(三三三、三三六、二七五號)郡會議員當選效力ニ關スル訴(四三三卷五九頁)

力ニ關スル訴(四三三卷五九頁)

第二十四條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トス但シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

◎過剩投票アルモ之ヲ控除シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ該選舉ハ有效ナリ(三三三、三三六、二七五號)郡會議員選舉效力ニ關スル訴(四四四卷八六頁)

◎郡參事會カ郡會議員當選ノ效力ニ付キ異議ノ申立ヲ受ケタル場合ニ於テ其問題ガ得票ノ效力ニ關スルトキハ之ヲ審査スルニ方リテ更ニ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スヘキヤ否ヤヲ檢案シ選舉ノ效力ノ有無ヲ決定スヘキモノトス(三三三、三三六、二七五號)郡會議員選舉效力ニ關スル訴(四四四卷四八頁)

◎舊郡制ニ依リテ執行シタル選舉ノ效力ニ關スル行政訴訟ハ新郡制ノ施行ト共ニ目的物消滅スルモノトス(三三三、三三六、二七五號)郡會議員選舉取消ノ訴(三五五卷八三頁)

之ヲ告示スヘシ

第二十八條 郡會議員ノ選舉ニ付テハ市町村會議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規程

第二十九條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ニ關スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
- 四 不動産ノ處分或買受讓受ニ關スル事
- 五 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 八 其他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項

第二十條 郡會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第二十一條 郡會ハ法律命令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第二十二條 郡會ハ郡ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ郡長若ハ監督官廳ニ呈出スルコトヲ得

第二十三條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

郡會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ郡會招集ニ應セス若ハ成立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タヌシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラス

第二十五條 郡會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ

第二十六條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

第二十七條 郡長及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏員ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第二十八條 郡會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ十四日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ五日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ郡長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

◎臨時郡會ハ郡制第三十八條第二項ノ規定ニ依リ必要アル場合ニ於テ開會スルモノトス從テ同條第三項ニ該當セサル事件ハ之ヲ議決スルコトヲ得ス(三五年第一四六號 三五、六、三〇宣言)不當裁決取消ノ訴(五四卷九六頁)

◎臨時郡會ニ於テハ豫シメ告示ヲ爲シタル事件又ハ郡長ニ於テ急施ヲ要スルモノトシテ議事ニ付シタル事件ノ外議決ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(三三年第五號 三三、六、二五宣言)不當裁決取消ノ訴(三六卷一一九頁)

第三十九條 郡會ハ郡長之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス郡會ハ郡長之ヲ閉閉ス

第四十條 郡會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第四十一條 郡會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

◎郡會議長ハ郡制第四十一條ノ規定ニ從ヒ可否同數ナル場合ニ於テ採決權ヲ有スルニ止マリ議長席ヲ離レテ自己ノ意見ヲ吐露スルハ法律ノ禁止スル所ニアラサレトモ其意見ヲ探テ直チニ之ヲ可否ノ數ニ加フルハ不當ナリ(三七年第二七一號 三八、三、一宣言)郡會議決取消處分取消ノ訴(一六輯二卷一〇九頁)

第四十二條 議長及議員ハ自己若ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ郡會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ其議事ニ參與スルコトヲ得ス

第四十三條 法令ノ規定ニ依リ郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他ハ第十五條乃至第十七條ノ規定ヲ準用ス前項ノ選舉ニ付テハ郡會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推薦若ハ連名投票ノ法ヲ用ヰルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ヰル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第五十三條 郡ニ郡參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 郡長

二 名譽職參事會員 五名

第五十四條 名譽職參事會員ハ郡會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

郡會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

名譽職參事會員中議員アルトキハ郡長ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選舉同時ナルトキハ投票數ニ依リ投票同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤ニ依リ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ仍舊員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ
補闕員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ郡會議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ但シ名譽職參事會員ハ後任者就任ノ日マテ在任ス

第五十五條 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス郡長故障アルトキハ出席會員中ヨリ臨時議長ヲ互選スヘシ

第二款 職務權限及處務規程

第五十六條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ郡會ニ代リテ議決スル事

三 郡長ヨリ郡會ニ提出スル議案ニ對シ意見ヲ述フル事

四 郡會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 郡費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 郡ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事項

◎ 郡參事會ニ於テ郡村行政上村界變更ノ必要アリトナシ自ラ議案ヲ發シテ議決ヲ爲シタルハ其權限ヲ超越セル違法ノ處分ナリトス(三六年第四四九號縣參事會裁決取消ノ訴)(一五輯一卷三七頁)

第五十七條 郡參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ郡ニ係ル出納ヲ檢查セシムルコ

トヲ得

前項ノ検査ニハ郡長又ハ其指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第五十八條 第三十二條第三十三條第三十七條及第五十條ノ規定ハ郡參事會ニ之ヲ準用ス

第五十九條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由

アリト認ムルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ

郡參事會ノ會期ハ郡長之ヲ定ム

第六十條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十一條 郡參事會ハ議長及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ閉クコトヲ得ス

第五十六條第二ノ議決ヲ爲ストキハ郡長ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

郡參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
會議ノ頭末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第六十二條 第四十二條ノ規定ハ郡參事會員ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ會員ノ數減少シテ前
條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第五十四條第三項ノ

順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指
命シ其闕員ヲ補充スヘシ

第四章 郡行政

第一款 郡吏員ノ組織及任免

第六十三條 郡ニ有給ノ郡吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定員ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

前項ノ郡吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第六十四條 郡ニ郡出納吏ヲ置キ官吏員ノ中ニ就キ郡長之ヲ命ス

第六十五條 郡ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ臨時若ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第二款 郡官吏郡吏員ノ職務權限及處務規程

第六十六條 郡長ハ郡ヲ統轄シ郡ヲ代表ス

郡長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 郡費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事

郡 制

- 二 郡會及郡參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事
- 三 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事
- 四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 五 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 六 法律命令又ハ郡會若ハ郡參事會ノ議決ニ依リ使用料手續料郡費及夫役現品ヲ賦課徴收スル事
- 七 其ノ他法律命令ニ依リ郡長ノ職權ニ屬スル事項

◎郡會ノ議案ハ郡長ノ發案スヘキモノトス從テ縱令必要上ヨリ生シタル結果ナリトスルモ郡會ニ於テ議員ノ配當案ニ對シ議員ノ定數ヲ増加シタルハ郡會ノ權限ヲ踰越シタルモノトス(三五年第六三號)郡會議決取消處分ニ對スル縣參事會裁決不服ノ訴(五三卷一四頁)

第六十七條 郡長ハ議案ヲ郡會ニ提出スル前之ヲ郡參事會ノ審查ニ付シ若シ郡參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ郡參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ

第六十八條 郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得

郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第六十九條 郡會若ハ郡參事會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ郡

長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ

議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁

判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

郡會若ハ郡參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮

ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘ

シ

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

◎郡長ニ於テ理由ヲ示シテ郡會ノ議決ヲ取消シタルトキハ縱令其理由ニシテ正當ナラストスルモ之ヲ以テ該處分ヲ無効トスルヲ得ス(三五年第六三號)郡會議決取消處分ニ對スル縣參事會ノ裁決不服ノ訴(五三卷二五頁)

第七十條 郡會若ハ郡參事會ニ於テ郡ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十一條 郡長ハ期日ヲ定メテ郡會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第七十二條 郡會若ハ郡參事會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第四十二條第六十二條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

郡會若ハ郡參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ郡會ニ於テ其ノ招集前告示セラレタル事件ニ關シ議案ヲ議シセサルトキハ前項ノ例ニ依ル

郡參事會ノ決定若ハ裁決スヘキ事項ニ關シテハ本條第一項第二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル郡長ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ郡會若ハ郡參事會ニ報告スヘシ

第七十三條 郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ限ナシト認ムルトキハ郡長ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ郡參事會ニ報告スヘシ

第七十四條 郡參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ議決ニ依リ郡長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第七十五條 官吏ノ鄣行政ニ關スル職務關係ハ此ノ法律中規定アルモノヲ除ク外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第七十六條 郡出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第七十七條 郡吏員ハ郡長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第七十八條 委員ハ郡長ノ指揮監督ヲ承ケ財產若ハ營造物ヲ管理シ其ノ他郡行政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第七十九條 郡ノ事務ニ關スル處務規程ハ郡長之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第八十條 有給郡吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第八十一條 郡會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若クハ許可スヘカ

ラスト認ムルトキハ府縣知事之ヲ定ム

第八十二條 有給郡吏員ノ退職料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

第八十三條 退職料退職給與金遺族扶助料及費用弁償ノ給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十四條 給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料費用弁償其ノ他諸給與ハ郡ノ負擔トス

第五章 郡ノ財務

第一款 財産營造物及郡費

第八十五條 郡ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

第八十六條 郡ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第八十七條 此ノ法律中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手数料ニ關スル細則ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ郡長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 郡ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第八十九條 郡ハ其ノ必要ナル費用及法律初令ニ依リ郡ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

前項ノ負擔ハ財産ヨリ生スル收入及其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノノ外之ヲ郡内各町村ニ分賦スヘシ

第九十條 郡費分賦ノ割合ハ其ノ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル各町村ノ直轄國稅府縣稅ノ徵收額ニ依ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アルトキハ郡長ハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第九十一條 郡内ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ内務大臣ノ定ムル所ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第九十二條 郡ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ郡内一部ノ町村ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工三關スル勞役ニ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役又ハ現品ヲ賦課セラレタル町村ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十三條 使用料手数料ノ徵收ニ關シ告知ヲ受ケタル者其ノ告知ニ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ告知書ノ交付後三箇月以内ニ郡長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

郡費ノ分賦ニ關シ町村ニ於テ其ノ分賦ニ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ郡長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

◎夫役及現品ノ賦課ト郡費ノ分賦トハ郡ノ需用ヲ郡内各町村ニ賦課スルト郡内一ノ町村ニ賦課スルトニ因リ其名稱ヲ異ニスルモ其性質ハ全然同一ナリ從テ郡制第九十三條第二項ニ所謂郡費ノ分賦ニハ夫役及ヒ現品ノ賦

課ヲ包含ス(三五年第二四五號 三五 一一一 一宣告)現品賦課ニ關スル不當裁決取消ノ訴(五七卷三七頁)

第九十四條 使用料手数料過料其ノ他ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條第一項ノ場合ニ於テ町村吏員ノ處分ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ郡長ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十五條 郡ハ其ノ預債ヲ償還スル爲又ハ郡ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ郡會ノ議決ヲ經テ郡債ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スニ付郡會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

郡ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス郡參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歳入出豫算及決算

第九十六條 郡長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ年度開始前郡會ノ議決ヲ經ヘシ郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ財産表ヲ提出スヘシ

第九十七條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第九十八條 郡費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ナ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ナ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第九十九條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ但シ郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第一百條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百一條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設ケルコトヲ得

第一百二條 決算ハ翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ郡會ニ報告スヘシ

郡長ハ決算ヲ郡會ニ報告スル前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ

第六章 郡組合

第一百五條 特定ノ事務ヲ共同處理セシムル必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ヲ設置スルコトヲ得郡組合ノ廢止若ハ變更ニ付テモ亦同シ

第一百六條 郡組合ヲ設置スルトキハ府縣知事ハ關係アル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合會ノ組織事務ノ管理方法並其ノ費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第一百七條 郡組合ハ法人トス

第七章 郡行政ノ監督

第百八條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第百九條 此ノ法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外郡ノ行政ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ此法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ翌日ヨリ起算ス
行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

此ノ法律ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付スヘシ
前項異議ノ決定書ハ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

此ノ法律ニ規定スル異議ノ申立若ハ訴願ノ提起ニ關スル期間ノ計算並天災事變ノ場合ニ於ケル特例ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ適用ス

異議ヲ申立テ又ハ訴願訴訟ヲ提起スル者アルトキハ行政總及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係

者ノ請求ニ依リ必要ト認ムル場合ニ限リ其分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第百十條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之ヲ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

監督官廳ハ郡行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第百十一條 監督官廳ハ郡ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第百十二條 内務大臣ハ郡官ノ解散ヲ命スルコトヲ得

郡官解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

解散後始メテ郡會ヲ召集スルトキハ郡長ハ第三十八條第二項ノ規定ニ拘ラス府縣知事ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第百十三條 郡吏員ノ服務規律ハ内務大臣之ヲ定ム

第百十四條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス

- 一 學藝美術又ハ歴史上貴重ナル物件ヲ処分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事
- 二 使用料手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第百十五條 郡債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ之ヲ變更スルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス但シ第九十五條末項ノ借入金ハ此限ニ在ラス

第百十六條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 二 寄附若ハ補助ヲ爲ス事
- 三 不動産ノ處分ニ關スル事

四 第九十二條ニ依リ夫役及現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

五 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

六 特別會計ヲ設クル事

第百十七條 郡ノ行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第百十八條 郡ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ其ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

第百十九條 府縣知事ハ郡吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ罰金二十五圓以下ノ

過罰金ヲ解職トス

府縣知事ハ郡吏員ノ懲戒處分ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ支給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ郡ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セラレルコトヲ得ス

第八章 附則

第百二十條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第百二十一條 郡内總町村ニ屬スル事業並其ノ財産營造物ハ小學校ヲ除ク外此ノ法律施行ノ日ヨリ郡ニ移ルモノトス

第百二十二條 此ノ法律ノ規定ニ依リ府縣知事府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事及府縣參事會ヲ指定スヘシ

第百二十三條 島嶼ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其ノ制ヲ定ムルコトヲ得
前項ノ島嶼ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第二百二十四條 明治二十三年法律第三十六號郡制ノ規定ニ依リ選舉セラレタル郡會議員郡參事會員ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ

本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニ於テ郡會議員ノ改選ヲ要スルコトアルモ其ノ改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

第二百二十五條 此ノ法律施行ノ際郡會及郡參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ルマテノ間郡長之ヲ行フ

◎郡制施行ノ際郡參事會ノ成立セサルトキニ於テ郡制第二百五條ニ依リ郡長ガ選舉效力ニ關スル異議申立ニ對シ裁決ヲ與ヘタル場合ニ在リテハ其裁決ニ對スル行政訴訟ニ付キテハ郡參事會ハ答辯ヲ爲スノ義務ヲ負フ
(三二年第二三六號
三三、五一四宣告 不法決定取消ノ訴) (三六卷三九頁)

第二百二十六條 此ノ法律ニ定ムル府縣參事會ノ職務ハ府縣制ヲ施行シ府縣參事會ノ成立ニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第二百二十七條 此ノ法律ニ定ムル直接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第二百二十八條 明治十一年第十七號布告郡區町村編制法其ノ條此ノ法律ニ抵觸スル法規ハ此法律施行

ノ地ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十九條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

市制

第一章 總則

第一款 市及其區域

第二款 市住民及權利義務

第三款 市條例

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 市行政

第一款 市參事會及市吏員之組織選任

第二款 市參事會及市吏員之職務權限及處務規程

第三款 給料及給與

第四章 市有財產之管理

第一款 市有財產及市稅

市制

市制

第二章 市ノ歳入出算及決算

第三章 特別ノ財産ヲ有スル市區ノ行政

第四章 市行政ノ監督

第五章 附則

市制

第一章 總則

第一款 市及其區域

第一條 此法律ハ市街地ニシテ郡ノ區域ニ屬セス別ニ市ト爲スノ地ニ施行スルモノトス

第二條 市ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡市ノ公共事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス

第三條 凡市ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スルコトアルトキハ此法律ニ準據ス可シ

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ從來ノ區ヲ存ス其區ハ財産及營造物ニ關スル事務其他法律命令ニ

依リ區ニ屬スル事務ヲ處理スルモノトス

◎東京市内ノ區ハ市町村ニ準スヘキ公共團體ナリ(三四年第一二〇號 三四一〇、一一宣言) 違法處分取消ノ訴

第四條 市ノ境界ヲ變更シ又ハ町村ヲ市ニ合併シ及市ノ區域ヲ分割スルコトアルトキハ町村制第四條ヲ適用ス

東京市、京都市、大阪市ノ區ヲ廢置分合シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアルトキ亦同シ(同上)

第五條 市ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ裁決ス其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二款 市住民及其權利義務

第六條 凡市内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其市住民トス

凡市住民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物並市有財産ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及市ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スル者トス但特ニ民法上ノ權利及義務ヲ有ズル者アルトキハ此限ニ在ラス

第七條 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ於テ(一)市ノ住民トナリ(二)其市ノ負擔ヲ分任シ及(三)其市内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ其市公民トス其公費

市制

市制

四

ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニヨリ市會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

此法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歳以上ニシテ一月ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

第八條 凡市公民ハ市ノ選挙ニ參與シ市ノ名譽職ニ選舉セラルルノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ市公民ノ義務ナリトス

左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサルモノ

二 營業ノ爲メニ常ニ其市内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齢滿六十歳以上ノ者

四 官職ノ爲メニ市ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年間無給ニシテ市吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間市會議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六 其他市會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ市會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其市公民タルノ權ヲ停止シ

且同年期間其負擔スヘキ市費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得

前項市會ノ議決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎市會ハ名譽職市參事會員ノ拒辭ヲ許否スルノ權能ナシ(三五年第二九三號 縣參事會ノ裁決取消ノ訴) (一四輯二卷二〇五頁)

◎區會議員ハ市ノ名譽職ニ非ス其退職及就職後資格要件ノ有無ニ關シ市制第八條第二十九條及第一百十九條ヲ適用セス(二六年第一八四號 一八宣告 不法裁決取消ノ訴)

◎市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ異ニスルハ市會議員タル名譽職ヲ退ク理由ト爲スニ足ラス從テ市會カ其公民權停止ノ議決ヲ爲シタルハ違法ニ非ス(二四年第四九號 二五、三、二八宣告 公民權停止不當議決取消請求ノ訴)

第九條 市公民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス

市公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付

市制

五

セラレタルトキハ其裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ市ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

市公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三項ノ場合ニ當ルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタルガ爲メ公民タルノ權ヲ得ヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル市吏員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其職ヲ停止スルコトヲ得

◎府縣會議員ニシテ府縣會議員及郡會議員選舉ニ關スル罰則第一條第一號ニ依リ公判ニ付セラレタルトキハ縱令其結果單ニ罰金ノミニ處セラルルコトアリトスルモ尙市制第九條ニ所謂公權停止ヲ附加スヘキ輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルモノトス(三二年第一七三號三四五二七宣告)縣會議員失職決定取消要求ノ訴(四五卷二八頁)

第三款 市條例

第十條 市ノ事務及市住民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設クルコトヲ許セル事項ハ各市ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

市ニ於テハ其市ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得

市條例及規則ハ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得ス且之ヲ發行スルトキハ地方慣行ノ公告式ニ依ル可シ

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第十一條 市會議員ハ其市ノ選舉人其選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員ハ人口五萬未満ノ市ニ於テハ三十人トシ人口五萬以上ノ市ニ於テハ三十六人トス

人口十萬以上ノ市ニ於テハ人口五萬ヲ加フル毎ニ人口二十萬以上ノ市ニ於テハ人口十萬ヲ加フル毎ニ議員三人ヲ増シ六十人ヲ定限トス

議員ノ定員ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得但定限ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 市公民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但其公民權ヲ停止セラルル者(第八條第三項第九條第二項)及第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ在ラス(二十八年法律第六號ヲ以テ本條中改正)凡內國人ニシテ公權ヲ有シ直接市稅ヲ納ムル者其額市公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ

多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラズト雖モ選舉權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラルル者及第九條第三項ニ當ル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

第十三條 選舉人ハ分テ三級ト爲ス

選舉人中直接市税ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ル可キ者ヲ一級トス

一級選舉人ノ外直接市税ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ル可キ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス

各級ノ間納税額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納税者二名以上アルトキハ其市ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齢ヲ以テシ年齢ニモ依リ難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ

選舉人毎級各別ニ議員ノ三分一ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス三級ニ通シテ選舉セラルルコトヲ得

一人ニテ市税三分ノ二以上ヲ納ムル者アル場合ニ於テハ市制第十三條ノ

規定ヲ適用スルヲ得ス又他ニ依ルヘキ規定ナキヲ以テ選舉人ヲ二級ニ區別スルモ違法ト云フヲ得ス(三六年第五號 違法選舉取消ノ訴) 一四輯六卷 六三二頁

第十四條 區域廣濶又ハ人口稠密ナル市ニ於テハ市條例ヲ以テ選舉區ヲ設ケルコトヲ得但特ニ二級若クハ三級選舉ノ爲メ之ヲ設ケルモ妨ケナシ

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區ヲ以テ市會議員ノ選舉區トス(三十一年法律第二十號ヲ以テ追加)

選舉區ノ數及其區域並各選舉區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ市條例ヲ以テ選舉人ノ員數ニ準シ之ヲ定ム可シ

選舉人ハ其住居ノ地ニ依テ其所屬ノ區ヲ定ム其市内ニ住居ナキ者ハ課税ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亘リ納税スル者ハ課税ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム可シ

選舉區ヲ設ケルトキハ其選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツ可シ

被選舉人ハ其選舉区内ノ者ニ限ラサルモノトス

第十五條 選舉權ヲ有スル市公民(第十二條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス

市制

左ニ掲ケル者ハ市會議員タルコトヲ得ス

- 一 所屬府縣ノ官吏
- 二 有給ノ市官吏
- 三 檢察官及警察官吏
- 四 神官僧侶及其他諸宗教師
- 五 小學校教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應ゼントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ケ可シ

代官人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員ニ選舉セラルルコトヲ得ス

父子兄弟タルノ縁故アル者ハ同時ニ市會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ

數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ニシテ選舉セラレタル

者ハ後者議員タルコトヲ得ス

市參事會員トノ間父子兄弟タルノ縁故アル者ハ之ト同時ニ市會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間

ニ其縁故アル者市參事會員ノ任ヲ受ケルトキハ其縁故アル議員ハ其職ヲ退ケ可シ

市制第十五條ノ列記中ニハ執達吏ヲ包含セス故ニ執達吏ニシテ市參事會

員ヲ兼ヌルモ同制第五十五條ノ規定ニ違反スルモノニアラス(三〇年第一一六號)

三、四、縣會議員選舉ノ效力ニ關スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴

第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分

シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任スヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任ノ議員ハ再選セラルルコトヲ得

市制第十六條ハ議員半數解任ノ方法ヲ定メタル規定ニシテ議員ノ各自ニ抽籤ヲ爲スノ權利ヲ附與シタルモノニアラス(三三年第八三號 三三、七、一〇宣言) 市會議員定期半數改選選舉取消裁決取消ノ訴(三三八卷一一三頁)

市制第十六條ニ依リ抽籤ヲ以テ退任ノ議員ヲ定ムルニ當リ議員ニ關員アル場合ニ於テ關員者ノ位席ニ對シ解任スヘキ者アルヤ否ノ抽籤ヲ爲シタルハ違法ニアラス(三三年第八三號 三三、七、一〇宣言) 市會議員定期半數改選選舉取消裁決取消ノ訴(三三八卷一一三頁)

第十七條 議員中關員アルトキハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補選選舉ヲ行フ可シ若シ定員三分

ノ二以上副員アルトキ又ハ市會、市參事會若クハ府縣知事ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖モ其補闕選舉ヲ行フ可シ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選舉トモ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フ可シ

第十八條 市長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其選舉前六十日ヲ限リ選舉原簿ヲ製シ各選舉人ノ資格ヲ記載シ此原簿ニ據リテ選舉人名簿ヲ製ス可シ但選舉區ヲ設ケルトキハ毎區各別ニ原簿及名簿ヲ製ス可シ

選舉人名簿ハ七日間市役所又ハ其他ノ場所ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之ヲ市長ニ申立ツ可シ市長ハ市會ノ裁決(第三十五條第一

項)ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ選舉前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無效トナリタル場合ニ於テ更ニ選舉ヲ爲ストキモ亦之ヲ適用ス

第一項

◎理事者ノ過失ニヨリ選舉原簿調製期日ヲ遷延シタル場合ニ在ツテハ原狀

回復ノ途ナク即チ不能ノモノナルヲ以テ爲メニ順延セル選舉ハ之ヲ取消ス限リニアラス(三六年第五五號 三六、七、一〇宣告) 違法選舉取消ノ訴(一四輯六卷六三一頁)

第二項

◎市制第十八條第二項末段ハ選舉權ノ行使ニ關スル規定ニシテ縱令選舉權ヲ有スル確定名簿ニ登錄セラレサルトキハ之ヲ行使シ得ル事ヲ示シタルニ過キス從テ該名簿ニ登錄セラレサル者ト雖モ議員ニ選舉セララルル事ヲ妨ケス(三七、二二、二三宣告) 市會議員當選效力ニ關スル訴(一五輯一一卷一一〇一頁)

【同】(三七年第二三〇號三七、二二、二一宣告東京府參事會ノ裁決ニ對スル訴)【一五輯一一卷一〇八六頁】

◎公民權停止中ノ者ハ選舉權ヲ有セス從テ確定名簿ニ登錄セラレタルヲ理由トシテ投票スルモ其投票ハ無効ナリ(三五年第一八五號 三五、七、四宣告) 市會議員選舉取消ノ訴(八五五卷二頁)

〔同趣旨〕 選挙人名簿ノ確定ハ其資格ニ資格ヲ附與スルノ效果ヲ生スルモノニアラス(二五年第五四號二六六)一、二一宣告選挙ニ關スル訴願ノ上訴)

◎確定名簿ニ登録セラレタル者ハ選挙ニ參與スルコトヲ得從テ確定名簿ニ登録セラレタル者ナルニ拘ハラス公民權停止中ナルヲ理由トシテ投票ヲ拒否シタル選挙係リノ處置ハ不當ナリ(三五年第一八五號三五七、四宣告市會議員選挙取消ノ訴)〔五五卷一頁〕

◎市會議員選挙人名簿ハ適法ノ手續ヲ經テ確定シタル以上ハ事實上誤謬ノ點アルモ訴願訴訟ノ結果ニ依ラサレハ動かスコトヲ得ス(三五年第一八五號三五七、四宣告市會議員選挙取消ノ訴)〔五五卷一頁〕

〔同趣旨〕 市制第十八條ニ基テ訴願ノ結果ニ依ラスシテ選挙人名簿ノ變更ヲ爲シタルハ違法ナリ(三二年第二〇號三三、七、九宣告市會議員選挙效力ニ關スル件)〔三八卷九九頁〕

〔同趣旨〕 市制第十八條第二項ノ規定ハ選挙人名簿ハ關係者ノ訴願アル場合ニ限り市會ノ裁決ニ依リ修正スルコトヲ得ヘキノ意義ナリ(三一年第一一九號三二、四、一二宣告市會議員選挙取消ノ訴)〔三〇卷一

一頁〕

◎關係者ノ訴願ナキニ市長カ選挙人名簿ノ修正ヲ市會ニ請求シタルハ違法ナリ(三一年第一一九號三二、四、一二宣告市會議員選挙取消ノ訴)〔三〇卷一頁〕

◎選挙人名簿ノ正否ニ關シ市會ヨリ訴訟ヲ爲スコトヲ許セル規定ナシ(三二年第一〇八號三二、二七宣告 不當裁決取消ノ訴)〔三三卷一六〇頁〕

◎選挙人中納税額ヲ詐稱シテ選挙名簿ニ登録セラレタル者アルニ就テノ異議ハ名簿等級ノ當否ニ關スル事件ナルヲ以テ市制第十八條ヲ適用ス(二三年第一四號一、二九宣告 市會選挙無効一件府知事ノ裁決不法ノ訴)

第十九條 選挙ヲ執行スルトキハ市長ハ選挙ノ場所日時ヲ定メ及選挙ス可キ議員ノ數ヲ各級各區ニ分チ選挙前七日ヲ限リテ之ヲ公告ス可シ
各級ニ於テ選挙ヲ行フノ順序ハ先ツ三級ノ選挙ヲ行ヒ次ニ二級ノ選挙ヲ行ヒ次ニ一級ノ選挙ヲ行フ可シ

◎市制第十九條ニ所謂選挙前七日ヲ限リトアルハ公告期間ノ最短限度ヲ指シタルモノト解釋セサルヘカラス(三六年第五五號三六、七、一〇宣告 違法選挙取消ノ訴)〔一四

◎三級選舉ノ終了前二級及一級ノ選舉ヲ執行セシハ市制第十九條第二項ニ違背シタル不法ナリ(三五年第一五〇號 市會議員選舉會取消ノ訴)

第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ市長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ市長若クハ其代理者ハ其掛長トナリ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス但選舉區ヲ設クルトキハ每區各別ニ選舉掛ヲ設ケ可シ

◎市制第二十條ハ單ニ選舉掛ハ選舉人中ヨリ選任スヘキコトヲ規定スルニ止マルヲ以テ異級ノ選舉人中ヨリ之ヲ選任スルモ違法ニ非ス(三八年第六三號 市會議員選舉無效ノ訴)

〔同趣旨〕市制第二十條ハ何等ノ制限ナキヲ以テ甲級選舉ノ選舉掛ヲ乙級ヨリ選任スルモ違法ニ非ス(三三年第一四號二四、一、二九宣告市會選舉無效ニ件府知事ノ裁決不法ノ訴)

第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

◎異級ノ選舉人カ日時ヲ誤リタル爲メ入場スルモ選舉長ノ制止ニ依リ之ヲ

覺知シ直ニ退場シタル時ハ市制第二十一條ノ違反ナリト爲スヘカラス(三八年第六三號 二八、一一、八宣告 市會議員選舉無效ノ訴)

◎市會議員選舉掛長ニ於テ選舉事務ヲ補助セシムル爲メ市吏員ヲ入場セムルモ違法ニ非ス(三八年第六三號 市會議員選舉無效ノ訴)

第二十二條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス

第二十三條 投票ニ記載ノ人員其選舉ス可キ定数ニ過キ又ハ不足アルモ其投票ヲ無効トセス其定数ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シ左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
- 二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 三 被選舉權ナキ人名ヲ記載スルモノ

市制

四 被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ

投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第二十四條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコトヲ許サス

第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得若シ其獨立ノ男子ニ非サル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ス代人ヲ以テス可シ其代人ハ內國人ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シテ代理ノ證トス可シ

第二十五條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取リ同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ(第十七條)投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘任期ノ最長キ前任者ノ補闕ト爲シ其數相同キトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム

第二十六條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ願末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ期滿シ選舉人名簿其他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選舉錄ニ附屬シ選舉ヲ終了スルニ至ル迄之ヲ保存ス可シ

第二十七條 選舉ヲ終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ五日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツ可シ

一人ニシテ數級又ハ數區ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内何レノ選舉ニ應ス可キコトヲ申立ツ可シ

其期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其選舉ヲ辭スル者トナシ第八條ノ處分ヲ爲ス可シ

第二十八條 選舉人選舉ノ効力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得(第三十五條第一項)

市長ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ府縣知事ニ報告シ府縣知事ニ於テ選舉ノ効力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス府縣參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得

選舉ノ定期ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其人ノ當選ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシム可シ

◎市會議員選舉ノ効力ニ關スル訴訟ニ於テ市長ヲ被告ト爲シタルハ訴訟ノ相手ヲ誤リタルモノニアラス(三一年第一一九號 市會議員選舉取消ノ訴)(二一九卷二二頁)

◎選舉執行ノ際選舉會場ニ在ラサル者ニ投票ヲ爲サシメサリシハ違法ノ處分ニ非ス(二五年第二二〇號 市會議員選舉會取消ノ訴)

◎選舉ノ效力ニ關スル訴願及訴訟ハ異級ノ選舉人ト雖モ之ヲ提起スルノ權利アリ(三五年第二二〇號 三六、六一二宣告) 市會議員選舉會取消ノ訴

第三項

◎市會議員ノ選舉ニ於テ甲乙二名ノ投票數同一ナル場合ニ甲カ年長ノ故ヲ以テ當選者トナリタルモ無効投票一點アリテ何人ノ得票中ヨリ之ヲ除棄スヘキヤヲ知ルヘカラサル以上ハ其選舉ヲ取消スヘキモノトス(三七年第七七、一、二、二八宣告) 市會議員選舉效力及取消ニ關スル訴(一一五輯一一卷一一四一頁)

◎市制第二十八條ノ選舉取消ハ選舉全體ノ取消ヲ指稱スルモノニシテ其一部ノ取消ヲ許シタルモノニアラス(三七年第七七〇號 三七、一二、二八宣告) 市會議員第一級選舉取消ニ關スル訴(一一五輯一一卷一一四一頁)

【同】(三五年第二四九號三六、三、二宣告區會議員半數改選選舉取消要求ノ訴) 【一四輯一卷八五頁】

◎無効投票アルモ選舉ノ結果ニ影響ヲ及ササルトキハ市制第二十八條ヲ適用シテ其選舉ヲ取消スヘキモノニアラス(三一年第九二號 三三、一二、五宣告) 不當處分取消ノ訴

用シテ其選舉ヲ取消スヘキモノニアラス(三一年第九二號 三三、一二、五宣告) 不當處分取消ノ訴
【四一卷六六頁】

◎市制第二十八條末項ノ選舉全部ヲ取消ス可キ規定ハ選舉全體ニ影響スル瑕疵アル場合ニ適用ス可キモノトス(三二年第二〇號 三三、七、九宣告) 市會議員選舉效力ニ關スル件(三八卷一〇一頁)

【同】(三三年第一一九號三三、七、九宣告縣參事會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴) 【三八卷七五頁】

◎二十九條 當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ市會之ヲ議決ス

第一款 職務權限及處務規程

第三十條 市會ハ其市ヲ代表シ此法律ニ準據シテ市ニ關スル一切ノ事件並從前特ニ委任セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ委任セララルル事件ヲ議決スルモノトス

第三十一條 市會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 市條例及規則ヲ設ク或改正スル事
- 二 市費ヲ以テ支辨ス可キ事業但第七十四條ニ掲グル事務ハ此限ニ在ラス

市制

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ス但判決確定スルニ非サレハ更ニ選舉ヲ爲ス
コトヲ得ス

◎名譽職參事會員ノ選舉效力ニ關シテ市參事會ノ爲シタル議決ニ對シテ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三二年第八九號 三二一〇、二三號決)不當議決取消ノ訴(三二一卷一八頁)

◎市制第三十五條第三項ハ選舉人名簿ノ正否ニ關シ市會ノ裁決アリタル該市長ハ其裁決ニ對シテ訴願ヲ爲スコトヲ得ルノ規定ナリ(三一年第一一九號 三二一四、一二號宣告)市會議員選舉取消ノ訴(三三〇卷一一頁)

◎區會議員ノ選舉效力ニ關スル訴願ノ裁決ハ市制第三十五條第一項ニ於テハ之ヲ認メサルノミナラス市制中該訴願ヲ裁決スルノ權限ヲ區會ニ附與シタル明文ナシ(二八年第二七號 二八六、六號宣告)不當裁決取消ノ訴

第三十六條 凡議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受ケ可カラサルモノトス

第三十七條 市會ハ毎曆年ノ初メ一周年ヲ限リ議長及其代理者各一名ヲ互選ス

第三十八條 會議ノ事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事アルトキハ議長ニ故障アルモノトシテ其代理者之ニ代ル可シ

議長代理者共ニ故障アルトキハ市會ハ市長ノ議員ヲ以テ議長ト爲ス可シ

第三十九條 市參事會員ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辯明スルコトヲ得

第四十條 市會ハ會議ノ必要アル毎ニ議長之ヲ招集ス若シ議員四分ノ一以上ノ請求アルトキ又ハ市長若クハ市參事會ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集ス可シ其招集以會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外少クモ會議ノ三日前タル可シ但市會ノ議決ヲ以テ豫メ會議日ヲ定ムルモ妨ケナシ市參事會員ヲ市會ノ會議ニ招集スルトキモ亦前項ノ例ニ依ル

第四十一條 市會ハ議員半數以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付招集再回ニ至ルモ議員猶半數ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第四十二條 市會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ再議議決ス可シ若シ猶同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第四十三條 議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ市會ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

議員ノ數此除名ノ爲メニ減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサルトキハ府縣參事會市會ニ代テ議決ス
第四十四條 市會ニ於テ市吏員ノ選舉ヲ行フトキハ其一名毎ニ匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有數投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル者ナキトキハ最多數ヲ得ル者二名ヲ取り之ニ就テ更

三投票セシム若シ最多數ヲ得ル者三名以上同數ナルトキハ議長自ラ抽籤シテ其二名ヲ取り更ニ投票セシム此再投票ニ於テモ猶過半數ヲ得ル者ナキトキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其他ハ第二十二條第二十三條第二十四條第一項ヲ適用ス

前項ノ選舉ニハ市會ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

第四十五條 市會ノ會議ハ公開ス但議長ノ意見ヲ以テ傍聴ヲ禁スルコトヲ得

第四十六條 議長ハ各議員ニ事務ヲ分課シ會議及選舉ノ事ヲ總理シ開會閉會並延會ヲ命シ議場ノ秩序ヲ保持ス若シ傍聴者ノ公然贊成又ハ擲斥ヲ表シ又ハ喧擾ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得

第四十七條 市會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及選舉ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記録セシム可シ議事録ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ

市會ハ議事録ノ謄寫又ハ原書ヲ以テ其議決ヲ市長ニ報告ス可シ

市會ノ書記ハ市會之ヲ選任ス

第四十八條 市會ハ其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過怠金二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第三章 市行政

第一款 市參事會及市吏員ノ組織選任

第四十九條 市ニ市參事會ヲ置キ左ノ吏員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 市長 一名

二 助役 東京ハ三名京都大阪ハ二名其他ハ一名

三 名譽職參事會員 東京ハ十二名京都大阪ハ各九名其他ハ六名

助役名譽職參事會員ハ市條例ヲ以テ其定員ヲ増減スルコトヲ得

第五十條 市長ハ有給吏員トス其任期ハ六年トシ内務大臣市會ヲシテ候補者三名ヲ推薦セシメ上奏裁

可ヲ請フ可シ若シ其裁可ヲ得サルトキハ再推薦ヲ爲サシム可シ再推薦ニシテ猶裁可ヲ得サルトキハ

追テ推薦セシメ裁可ヲ得ルニ至ルノ間内務大臣ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ市費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ

市長ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第五十一條 助役及名譽職參事會員ハ市會之ヲ選舉ス其選舉ハ第四十四條ニ依テ行フ可シ但投票同數

ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス府縣參事會之ヲ決ス可シ

◎ 市會議員解職ノ處分ヲ受ケタル者カ訴願ニ據テ該處分ノ執行停止中市參事會員選舉ノ投票ヲ爲シタルハ不法ナリト主張スル請求ニ對シ訴權ヲ認

オタル法令ナシ(三〇年第七一號 市參事會員違法選舉取消ノ訴)

第五十二條 助役ハ有給吏員トシ其任期ハ六年トス

助役ノ選舉ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス若シ其認可ヲ得サルトキハ再選舉ヲ爲ス可シ再選舉ニシテ猶其認可ヲ得サルトキハ追テ選舉ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルノ間府縣知事ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ市費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ助役ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第五十三條 市長及助役ハ其市民タル者ニ限ラス但其任ヲ受クルトキハ其公民タルノ權ヲ得

第五十四條 名譽職參事會員ハ其市民中年齡滿三十歲以上ニシテ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス其任期ハ四年トス任期滿限ノ後ト雖モ後任者就職ノ日迄在職スルモノトス

名譽職參事會員ハ毎二年其半數ヲ改選ス若シ二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退任セシム初回ノ退任者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但退任者ハ再選セラルルコトヲ得 若シ剛員アルトキハ其殘任期ヲ補充スル爲メ直ニ補闕選舉ヲ爲ス可シ

第五十五條 市長及助役其他參事會員ハ第十五條第二項ニ掲載スル職ヲ兼メルコトヲ得同條第四項ニ掲載スル者ハ名譽職參事會員ニ選舉セラルルコトヲ得ス 父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ市參事會員タルコトヲ得ス若シ其緣故アル者市長ノ任ヲ受ケル

トキハ其緣故アル市參事會員ハ其職ヲ退ク可シ其他ハ第十五條第五項ヲ適用ス

市長及助役ハ三箇月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得此場合ニ於テハ退職料ヲ受ケルノ權ヲ失フモノトス

第五十六條 市長及助役ハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ社長及重役トナルコトヲ得ス其他ノ營業ハ府縣知事ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ許サス

第五十七條 名譽職參事會員ノ選舉ニ付テハ市參事會自ラ其效力ノ有無ヲ議決ス

當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ市參事會之ヲ議決ス其議決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得其他ハ第三十五條末項ヲ適用ス

第五十八條 市ニ收入役一名ヲ置ク收入役ハ市參事會ノ推薦ニ依リ市會之ヲ選任ス

收入役ハ市參事會員ヲ兼メルコトヲ得ス

收入役ノ選任ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス其他ハ第五十二條、第五十三條、第五十五條及第七十六條ヲ適用ス

收入役ハ身元保證金ヲ出ス可シ

第五十九條 市ニ書記其他必要ノ附屬員並使丁ヲ置キ相當ノ給料ヲ給ス其人員ハ市會ノ議決ヲ以テ之ヲ定メ市參事會之ヲ任用ス

第六十條 凡市ハ處務便宜ノ爲メ市參事會ノ意見ヲ以テ之ヲ數區ニ分テ每區區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得區長及其代理者ハ名譽職トス但東京京都大阪及人口二十萬以上ノ市ニ於テハ區長ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得(三十三年法律第四十六號ヲ以テ條中追加)

區長及其代理者ハ市會ニ於テ其區若クハ隣區ノ公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス區會(第十三條)ヲ設ケル區ニ於テハ其區會ニ於テ之ヲ選舉ス但東京京都大阪及人口二十萬以上ノ市ニ於テハ市參事會之ヲ選任ス

東京京都大阪及人口二十萬以上ノ市ニ於テハ前條ニ依リ區ニ附屬員並使丁ヲ置クコトヲ得
東京市、京都市、大阪市及人口二十萬以上ノ市ハ市會ノ議決ニ依リ區ニ區收入役ヲ置クコトヲ得
(三十一年法律第二十號ヲ以テ本項追加)

前項區收入役ハ區附屬員ニ就キ市參事會之ヲ命ス(同上)

第六十一條 市ハ市會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其委員ハ名譽職トス
委員ハ市參事會員又ハ市會議員ヲ以テ之ニ充テ又ハ市參事會員及市會議員ヲ以テ之ヲ組織シ又ハ會員議員ト市公民中選舉權ヲ有スル者トヲ以テ之ヲ組織シ市參事會員一名ヲ以テ委員長トス

委員中市會議員ヨリ出ツル者ハ市會之ヲ選舉シ選舉權ヲ有スル公民ヨリ出ツル者ハ市參事會之ヲ選舉シ其他ノ委員ハ市長之ヲ選任ス
常設委員ノ組織ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

◎市制第六十一條ハ當然市會ノ議決ヲ要スル事項ニ關シテ委員ヲ設ケ得ル規定ナリ故ニ市會カ市民ヨリ提出スル建議請願書ノ取調委員ヲ設置シタルハ越權ナリ(二六年第六八號、二七年五五號、五五號)建議請願書調査委員設置事件裁決不服ノ訴)

第六十二條 區長及委員ニハ職務取扱ノ爲メ必要スル實費辨償ノ外市會ノ議決ニ依リ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

第六十三條 市吏員ハ任期滿限ノ後再選セラレルコトヲ得
市吏員及使丁ハ別段ノ規定又ハ規約アルモノヲ除クノ外隨時解職スルコトヲ得

第二款 市參事會及市吏員ノ職務權限及處務規程

第六十四條 市參事會ハ其市ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任ス
市參事會ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 市會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ市會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公

- 衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ市參事會ハ自己ノ意見ニ由リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ由リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律勅令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 二 市ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理スル事若シ特ニ之ヲ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事
- 三 市ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算表其他市會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事
- 四 市ノ權利ヲ保護シ市有財産ヲ管理スル事
- 五 市吏員及使丁ヲ監督シ市長ヲ除クノ外其他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス
- 六 市ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事
- 七 外部ニ對シテ市ヲ代表シ市ノ名義ヲ以テ其訴訟和解ニ關シ又ハ他處若クハ人民ト商議スル事
- 八 法律勅令ニ依リ又ハ市會ノ議決ニ從テ使用料、手数料、市税及夫役現品ヲ賦課徵收スル事
- 九 其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ市參事會ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

◎市制第六十四條ハ市會ノ議決ニ適用スヘク區會ノ議決ニ適用スヘキモノニ非ス(二八年第三六號) 不法裁決取消ノ訴)

◎市制第二十三條第四十八條ノ如キ場合ノ外市會ハ發案權ヲ有セス故ニ市有地貸渡地料ノ變更ニ關スル件ヲ議決シタルハ越權ニ非ラスト議決シタルハ違法ナリ(二八年第五號) 月島市有地貸渡地料變更議決ニ對スル再議事件不法裁決取消ノ訴)

◎市會ノ爲シタル議決カ性質上其執行ヲ爲シ得ヘカラサル場合ハ町村制第六十四條第二項ノ一ヲ適用セス(二六年第二六號) 不法裁決取消ノ訴)

第六十五條 市參事會ハ議長又ハ其代理者及名譽職會員定員三分ノ一以上出席スルトキハ議決ヲ爲ス

コトヲ得

其議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事録ニ登記ス可シ

市參事會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ市長ハ自己ノ意

見ニ由リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ由リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ府縣參事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律勅令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十六條 第四十三條ノ規定ハ市參事會ニモ亦之ヲ適用ス但同條ノ規定ニ從ヒ市參事會正當ノ會議ヲ開クコトヲ得サルトキハ市會之ニ代テ議決スルモノトス

第六十七條 市長ハ市政一切ノ事務ヲ指揮監督シ處務ノ滯滞ナキコトヲ務ム可シ

市長ハ市參事會ヲ召集シ之カ議長トナル市長故障アルトキハ其代理者ヲ以テ之ニ充ツ

市長ハ市參事會ノ議事ヲ準備シ其議決ヲ執行シ市參事會ノ名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲シ及之ニ署名ス

第六十八條 急施ヲ要スル場合ニ於テ市參事會ヲ召集スルノ暇ナキトキハ市長ハ市參事會ノ事務ヲ專

決處分シ次回ノ會議ニ於テ其處分ヲ報告ス可シ

第六十九條 市參事會員ハ市長ノ職務ヲ補助シ市長故障アルトキ之ヲ代理ス

市長ハ市會ノ同意ヲ得テ市參事會員ヲシテ市行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得此場合ニ於テ

ハ名譽職會員ハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費對價ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ受クルコトヲ得

市條例ヲ以テ助役及名譽職會員ノ特別ナル職務並市長代理ノ順序ヲ規定ス可シ若シ條例ノ規定ナキ

トキハ府縣知事ノ定ムル所ニ從ヒ上席者之ヲ代理ス可シ

市制第六十九條ニ所謂市長ノ職務中ニハ市ノ固有事務ト他ノ委任事務トヲ問ハス總テ之ヲ包含ス(三二年第九三號 縣會議員當選ニ關スル決定取消ノ訴) (三四卷二六頁)

第七十條 市收入役ハ市ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ル

第七十一條 書記ハ市長ニ屬シ庶務ヲ分掌ス

第七十二條 區長及其代理者(第六十條)ハ市參事會ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區内ニ關スル市

行政事務ヲ補助執行スルモノトス

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區長ハ市長市參事會又ハ市收入役ノ指揮命令ヲ受ケ若クハ委任ニ

依リ市ノ公共事務及法律命令ヲ以テ市ニ屬シタル事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ管掌ス

前項ノ區長ハ市參事會ノ監督ヲ受ケ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

區收入役ハ市ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ル

區收入役ハ市收入役ノ指揮命令ヲ受ケ若クハ委任ニ依リ區内ニ關スル市收入役ノ事務ヲ管掌ス

第七十三條 委員ハ(第六十一條)市參事會ノ監督ニ屬シ市行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ營造物ヲ管理

シ若クハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處理スルモノトス

市長ハ隨時委員會ニ列席シテ議決ニ加ハリ其議長タルノ權ヲ有ス常設委員ノ職務權限ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十四條 市長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

- 一 司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依リテ其管理ニ屬スル地方警察ノ事務但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管掌セシムルトキハ此限ニ在ラス
- 二 浦役場ノ事務
- 三 國ノ行政並府縣ノ行政ニシテ市ニ屬スル事務但別ニ吏員ノ設ケアルトキハ此限ニ在ラス

右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ市參事會員ノ一名ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メニ要スル費用ハ市ノ負擔トス

東京市、京都市、大阪市ノ市長ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ本條ノ事務ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得

第三款 給料及給與

第七十五條 名譽職員ハ此法律中別ニ規定アルモノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

實費辨償額及報酬額ハ市會之ヲ議決ス

第七十六條 市長助役其他有給吏員及俸丁ノ給料額ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

市會ノ議決ヲ以テ市長ノ給料額ヲ定ムルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス若シ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ確定ス

市會ノ議決ヲ以テ助役ノ給料額ヲ定ムルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス府縣知事ニ於テ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ府縣參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス

市長助役其他有給吏員ノ給料額ハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得

◎市ノ收入役ノ給料額ハ市會ノ議決ノミヲ以テ確定シ得ヘキモノニ非ラス
必ス府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス(二五年第一一九號市ノ收入役給料額ニ付市會ノ議決執行ニ關スル件)

第七十七條 市條例ノ規定ヲ以テ市長其他有給吏員ノ退職料ヲ設クルコトヲ得

第七十八條 有給吏員ノ給料、退職料其他第七十五條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ府縣參事會之ヲ裁決ス其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十九條 退職料ヲ受クル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ其

間之ヲ停止シ又ハ更ニ退隱料ヲ受クルノ權ヲ得ルトキ其額舊退隱料ト同額以上ナルトキハ舊退隱料ハ之ヲ廢止ス

第八十條 給料、退隱料、報酬及辨償ハ總テ市ノ負擔トス

第四章 市有財産ノ管理

第一款 市有財産及市税

第八十一條 市ハ其不動産、積立金等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ

臨時ニ收入シタル金額ハ基本財産ニ加入ス可シ但當附金等當附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

市ノ決算剩餘金ハ翌年度ニ繰越スカ基本財産ト爲スカ又ハ豫備費ト爲ス等内務省令ノ範圍内ニ於テ處分スルヲ要ス故ニ市會カ該剩餘金ヲ以テ基本財産以外ニ準備金ト稱スル積立金トシ之ヲ市有財産トスル議決ヲ爲シタルハ市制第八十一條ノ規定ニ違背シタル不法ナリ(二六年第五二號 二六年七月一〇宣言) 不當裁決取消ノ訴)

第八十二條 凡市有財産ハ全市ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトス但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第八十三條 舊來ノ慣行ニ依リ市住民中特ニ其市有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ市會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其舊價ヲ改ムルコトヲ得ス

第八十四條 市住民中特ニ市有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ市條例ノ規定ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十五條 使用權ヲ有スル者(第八十三條、第八十四條)ハ使用ノ多寡ニ準シテ其土地物件ニ係ル要ナル費用ヲ分擔ス可キモノトス

第八十六條 市會ハ市ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權(第八十三條、第八十四條)ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

一 私人カ市ノ營造物規則ニ依リ返地事項ヲ承認シテ市有地ヲ借受ケ之ヲ使用スル場合ニハ其返地命令ヲ發スルニ付キ市制第八十六條同第二百二十三條ノ規定ヲ適用スヘキモノニアラス(三四年第八二號 三七年三、七宣言) 返地命令ニ對スル訴(一

一五輯二卷九一頁

第八十七條 市有財産ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付ス可シ但臨時急施ヲ要スルトキ及入札ノ價額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

第八十八條 市ハ其必要ナル支出及従前法律命令ニ依テ賦課セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ賦課セラルル支出ヲ負擔スルノ義務アリ

市ハ其財産ヨリ生スル收入及使用料、手数料、(第八十九條)竝料、過怠金其他法律勅令ニ依リ市ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ猶不足アルトキハ市税(第九十條)及夫役現品(第一百條)ヲ賦課スルコトヲ得

兵營ノ建設ハ國家ノ防備ニ屬シ自治團體ノ利益ト直接ノ關係ヲ有スルモノニ非ス故ニ之カ爲メニスル寄付行爲ノ如キハ市制第二條ノ範圍ヲ超越ス從テ其費用ハ市ノ必要ナル支出ニ非ス(三一年第九條、一〇、七宣言) 家屋税割賦課額取消請求ノ訴)

鐵道調査委員ハ市ノ行政事務ヲ處辨スル所ノ委員ニ該當セス隨テ其手當

ニ充テタル費途ノ如キモ市ノ必要ナル支出ニ非ス(二七年第七二號、二八年三、一六宣言) 市税賦課取消ノ訴)

鐵道敷設ニ關シ有志人民ノ請願費用ヲ補助スルハ市制第八十八條ニ所謂必要ナル支出ニ非ス從テ市會カ之ヲ可決シタルハ違法ナリ(二六年第一四號、二六年第七、六宣言) 市會ノ議決取消裁決不當ノ訴)

第八十九條 市ハ其所有物及營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付使用料又ハ手数料

料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十條 市税トシテ賦課スルコトヲ得可キ目左ノ如シ

- 一 國稅府縣稅ノ附加稅
- 二 直接又ハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ市ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス特別稅

ハ附加稅ノ外別ニ市限リ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

市内ニ於テ營業ヲ爲ス銀行支店ニ對シ市税ヲ賦課スルニ付テハ府縣稅ニ關シ府縣制第八條ニ依リ關係府縣知事ノ協議決定シタル稅率ヲ採用スル

モ不法ニアラス(三六第五〇八號 三七四八宣告)不當課税取消請求ノ訴(一五輯三卷第二二一頁)

◎市内ノ一定ノ場所ニ於テ營業ヲ爲ス者ニハ其個人タルト法人タルトヲ論セテ總テ市税ヲ賦課シ得ルモノトス而シテ該場所カ營業ノ本據ナルト否ト又該場所ニ於テ本税ヲ現納スルト否トハ之ヲ問フノ要ナシ(三六第四八四號 三七四六宣告)營業税附加市税不當賦課取消請求ノ訴(一五輯三卷一九一頁)

◎市制第九十條ハ市税トシテ賦課スルコトヲ得可キ税目ヲ定メタルモノニシテ市外ニ於ケル營業ニ對シ市税ヲ賦課シ得ヘキ事ヲ定メタルモノニアラス(三六第一七六號 三七一一二九宣告)不當課税取消ノ訴(一五輯一卷一二頁)

【同】(三六第四七三號 三六一二二三宣告)不當課税取消ノ訴(一四輯一〇卷九一九頁)
◎(三六第二四八號 三六一一、二二宣告)不當課税取消ノ訴(一四輯八卷七八二頁)

◎一市内ニ本店ヲ設ケ市外ニ支店ヲ置キテ營業ヲ爲ス處ノ法人カ本店及ヒ支店ノ營業ニ屬スル國税營業税ヲ合算シテ同市ニ納付セル場合ニ於テハ

同市ハ其市内ノ營業ニ付キ市税ヲ賦課シ得ヘキモ支店ニ於ケル營業ニ付キテハ課税權ヲ有セサルモノトス故ニ其營業税金全部ニ對シ市税ヲ賦課シタルハ適法ノ處置ニアラス(三六第二四八號 三六一一、二二宣告)不當課税取消ノ訴(一四輯八卷七八二頁)

第九十一條 此法律ニ規定セル條項ヲ除クノ外使用料手数料(第八十九條)特別税(第九十條第一項第一)及從前ノ區町村費ニ關スル細則ハ市條例ヲ以テ之ヲ規定ス可シ其條例ニハ科料一圓九十五錢以下ノ罰則ヲ設ケルコトヲ得

科料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ市參事會之ヲ掌ル其處分ニ不服アル者ハ令狀交付後十四日以内ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十二條 三箇月以上市内ニ滞在スル者ハ其市税ヲ納ムルモノトス但正課税ハ滞在ノ初ニ遡リ徵收ス可シ

第九十三條 市内ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖モ市内ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ハ其土地家屋營業者クハ其所得ニ對シテ賦課スル市税ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

◎市ノ營業者カ其營業ニ付キ市稅ヲ納ムルノ義務ハ市内ニ於テ營業ヲ爲スニヨリ發生スルモノナレハ其以前他ノ市町村ニ於テ爲シタル營業ニ付テハ納稅ノ義務ヲ有セス(三五年第三七六號 三六、一〇、七宣告)市稅國稅營業割不當賦課取消ノ訴(一四輯七卷六七〇頁)

【同】(三六年第一七六號三七、一、二九宣告不當課稅取消ノ訴)【一五輯一卷一二頁】

◎市ハ市外ニ於ケル土地家屋營業若クハ其所得ニ對シテハ課稅權ヲ有セス(三五年第二五二號 三五、一、二一宣告)不當課稅取消ノ訴(五六卷一〇一頁)

第九十四條 所得稅ニ附加稅ヲ賦課シ及市ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セントスルトキハ納稅者ノ市外ニ於ケル所有ノ土地家屋又ハ營業(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヨリ收入スル所得ハ之ヲ除控ス可キモノトス

◎所得稅ニ關スル市制第九十四條ハ市外ニ於ケル所得ハ之ヲ控除スヘシト云フニ在リテ其主旨ハ同第九十三條ト異ナル所ナシ(三五年第二五二號 三五、一、三一宣告)不當課稅取消ノ訴(五六卷一〇一頁)

第九十五條 數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ前條ノ市稅ヲ賦課スルトキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ニミ課稅ス可シ但土地家屋又ハ營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニ在ラス

第九十六條 所得稅法第三條ニ掲グル所得ハ市稅ヲ免除ス

第九十七條 左ニ掲グル物件ハ市稅ヲ免除ス

- 一 政府、府縣都市町村及公共組合ニ屬シ直接ノ公用ニ供スル土地、營造物及家屋
- 二 社寺及官立公立ノ學校病院其他學藝、美術及慈善ノ用ニ供スル土地、營造物及家屋
- 三 官有ノ山林又ハ荒蕪地但官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費用ヲ徵收スルハ此限ニ在ラス

新開地及開墾地ハ市條例ニ依リ年月ヲ限リ免除スルコトヲ得

第九十八條 前二條ノ外市稅ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ皇族ニ係ル市稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現今ノ例ニ依ル

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

市内ノ一區ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其區内ニ住居シ若クハ滞在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヲ爲ス者ニ於テ其修築及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一區ノ所

有財産アルトキハ其収入ヲ以テ先ツ其ノ費用ニ充ツ可シ

◎町村内ノ一部ニ屬スル營造物ナル用水路ニ關スル費用ハ其一部ニ於テ負擔スルヲ當然トス(二五年第二四號 二五、六、四頁) 用水賦費課法ニ關スル訴)

第百條 (三十三年法律第四十六號ヲ以テ削除)

第百一條 市公共ノ事業ヲ起シ又ハ公共ノ安寧ヲ維持スルカ爲メニ夫役及現品ヲ以テ納税者ニ賦課スルコトヲ得但學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外直接市税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課ス可シ
夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又急迫ノ場合ヲ除クノ外金額ヲ以テ之ニ代ルコトヲ得

第百二條 市ニ於テ徵收スル使用料、手数料(第八十九條)市税(第九十條)夫役ニ代フル金額(第百一條)共有物使用料及加入金(第八十四條)其他市ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキハ市參事會ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收スヘシ其督促ヲ爲スニハ市條例ノ規定ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得
納税者中無資力ナル者アルトキハ市參事會ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ得

其年度ヲ越ユル場合ニ於テハ市會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徴、期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規則ヲ適用ス

第百三條 地租ノ附加税ハ地租ノ納税者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル市税ハ其所有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

第百四條 市税ノ賦課ニ對スル訴願ハ賦課令狀ノ交付後三箇月以内ニ之ヲ市參事會ニ申立可シ此期限ヲ經過スルトキハ其年度内減稅免稅及償還ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノトス

◎市税ノ賦課ヲ不法ナリト主張スル者ハ其不法ノ原因孰レニ在ルヲ問ハス
訴願訴訟ヲ爲スコトヲ得(三二年第九號 三一、一〇、七頁) 家屋稅割不當賦課額取消請求ノ訴

第百五條 市税ノ賦課及市ノ營造物、市有財産並其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴願ハ市參事會之ヲ裁決ス但民法上ノ權利ニ係ルモノハ此限ニアラス

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ス

◎市制第一百五條ハ市税ノ賦課ニ關シ市參事會ニ訴願シタル者カ其裁決ニ服

セサル場合ニ於テ逐次訴訟願訴訟ヲ爲スコトヲ許スモ市參事會ニ之レヲ許シタル規定ニアラス(三六年第四八二號 三七七年第八八號)不當裁決取消ノ訴(一五輯六卷六二〇頁)【同】(三七七年第五二號三七、七、八宣告營業稅附加稅賦課ニ關スル不當裁決取消ノ訴)【一五輯六卷六三三頁】

◎(三七七年第二六四號三七、四、四宣告營業稅附加稅賦課ニ關スル不當裁決取消ノ訴)【一五輯二卷一八八頁】

◎市制第一百五條ハ市住民ニ於テ既ニ有スル使用權ヲ侵害セラレタル場合ニ行政訴訟ヲ許シタル規定ニシテ市有地借用願書ヲ却下セラレタルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラス(三六年第五四二號 三六、一、二、三裁決)市有濱地使用ノ拒否ニ關スル訴(一四輯一〇卷九三〇頁)

◎市税ノ賦課ヲ不法ナリト主張スル者ハ其不法ノ原因何レニ在ルヲ問ハス訴訟願及訴訟ヲ爲スコトヲ得(三一年第九號 三一、一〇、七宣告)家屋稅割不當賦課額取消請求ノ訴

◎課税ノ一部取消ノ請求ニ於テ豫算中其請求カ他ノ部分ト混同スルモ之ヲ以テ訴訟ノ目的物ヲ欠クモノト謂フヲ得ス(三一年第九號 三一、一〇、七宣告)家屋稅不當賦課額取消請求ノ訴

四百六條 市ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災事變等已ムヲ得サル支出若クハ市ノ永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ其市住民ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限ルモノトス

市會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ム可シ
シ償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々償還ノ歩合ヲ定メ募集ノ時ヨリ三十年以内ニ還了ス可シ
定額豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其年度内ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノトス但此場合ニ於テハ市會ノ議決ヲ要セス

◎市債募集ノ方法ヲ定ムルハ市制第六條第二項ニ依リ市會ノ議決權内ニ屬スルヲ以テ前後起債方法異ナルモ償還ノ初期及終期同條ノ範圍ヲ出テサル限リハ許可ヲ要セス(二七年第三六號 二八、五、一八宣告)裁決不明ノ訴

第二款 市ノ歳入出豫算及決算

第七條 市參事會ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得可キ金額ヲ見積リ年度前二箇月ヲ限リ歳入出豫算表ヲ調製ス可シ但市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定ムルコトヲ得

第八條 豫算表ハ會計年度前市會ノ議決ヲ取り之ヲ府縣知事ニ報告シ並均方慣行ノ方式ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ

豫算表ヲ市會ニ提出スルトキハ市參事會ハ併セテ其市ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出ス可シ

第九條 定額豫算外ノ費用又ハ豫算ノ不足アルトキハ市會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ得

定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ豫備費ヲ置キ市參事會ハ豫メ市會ノ認定ヲ受ケスシテ豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充ツルコトヲ得但市會ノ否決シタル費返ニ充ツルコトヲ得ス

第十條 市會ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ其贈寫ヲ以テ之ヲ收入役ニ交付ス可シ其豫算表中監督官廳若クハ參事會ノ許可ヲ受ケ可キ事項アルトキハ(第百二十一條ヨリ第百二十三條ニ至ル)先ツ其許可ヲ受ケ可シ

收入役ハ市參事會(第六十四條第二項第三)又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又收入役ハ市參事會ノ命令ヲ受ケルモ其支出豫算表中ニ豫定ナキカ又ハ其命令第百九條ノ規定ニ照ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第十一條 市ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クモ一回臨時検査ヲ爲スコシ例月検査ハ市長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査ハ市長又ハ其代理者ノ外市會ノ互選シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第十二條 決算ハ會計年度ノ終ヨリ三箇月以内ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ市參事會ニ提出シ市參事會ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ之ヲ市會ノ認定ニ付ス可シ其市會ノ認定ヲ經タルトキハ市長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告ス可シ

決算報告ヲ爲ストキハ第三十八條及第四十三條ノ例ニ準シ市參事會員故障アルモノトス

第五章 特別ノ財産ヲ有スル市區ノ行政

第十三條 市内ノ一區ニシテ特別ニ財産ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其區限リ特ニ其費用(第九十九條)ヲ負擔スルトキハ府縣參事會ハ其市會ノ意見ヲ聞キ條例ヲ發行シ財産及營造物ニ關スル事務

ノ爲メ區會ヲ設ケルコトヲ得其會議ハ市會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

區會議員選舉ノ效力ニ關スル事ニ付行政訴權ヲ認メタル法令ナシ(三〇年第一七號決 區會議員選舉取消ノ訴)

④ 區會ハ區有財産及營造物ニ關スル事務ノ爲ニ設クルモノニシテ其他ノ事項ニ付テハ議決權ヲ有スルモノニ非ラス(二八年第三六號 五宣告) 不法裁決取消ノ訴

⑤ 區會ニ於テ外征ノ從軍戰死者ノ保護ニ屬スル子女弟妹ニ限リ小學授業料ヲ免除シタル議決ニ就キ市參事會カ之ヲ再議ニ付シタルヲ不當トシ區會ヨリ訴ヲ提起シ得ルノ法令ナシ(二八年第一六號 二裁決) 尋常小學校授業料免除ニ關スル不當裁決取消請求ノ訴

⑥ 區會カ越權ノ議決ヲ爲シタリト主張スル事件ニ付市參事會ノ訴權ヲ認メタル法令ナシ(二七年第五二號 二七、二〇、一一裁決) 裁決不服ノ訴

⑦ 市制中區會議員ノ進退及資格ニ關シ區會ニ議決權ヲ附與シタル明文ナシ(二六年第八四號 二六、一、一八宣告) 不法裁決取消ノ訴

第百十四條 前條ニ記載スル事務ハ市ノ行政ニ關スル規則ニ依リ市參事會之ヲ管理ス可シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別ス可シ

第六章 市行政ノ監督

第百十五條 市行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス但法律ニ指定シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス

市ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得(三十二年法律第四十七號ヲ以テ本項追加)

第百十六條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外凡市ノ行政ニ關スル府縣知事若クハ府縣參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

市ノ行政ニ關スル訴願ハ處分若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セんとスル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アリ又ハ當該官廳ノ意見ニ依リ其停止ノ爲メニ市ノ公益ニ害アリト爲ストキハ此限ニ在ラス

⑧ 市長カ町有地ノ一部ヲ除外シテ市會ニ提案シタルヲ不法トシ其議案及ヒ

議決ノ取消ヲ請求スル事件ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル規定
ナシ(三七年第八九〇號
三七、二二、一三裁決) 町有地賣却ニ關スル訴(一五輯一一卷一〇五一頁)

●市税ノ賦課ヲ違法ナクト主張スル事件ノ出訴期限ハ市制第一百十六條第三
項ノ期間ニ據ル(三〇年第一九號
三〇、六、八宣告) 不當市税徴収取消ノ訴

第百十七條 監督官廳ハ市行政ノ法律命令ニ背反セサルヤ其事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視ス可シ監
督官廳ハ之カ爲メニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ確實地ニ就テ
事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第百十八條 市ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ヲ定額豫算
ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ實行セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算
表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシム可シ

市ニ於テ前項ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ再訴スルコトヲ得

第百十九條 凡市會又ハ市參事會ニ於テ議決ス可キ事件ヲ議決セサルトキハ府縣參事會代テ之ヲ議決
ス可シ

第百二十條 內務大臣ハ市會ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命シタル場合ニ於テハ同時ニ三箇月以内

更ニ議員ヲ改選ス可キコトヲ命ス可シ但改選市會ノ集會スル迄ハ府縣參事會市會ニ代テ一切ノ事件
ヲ議決ス

第百二十一條 左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 市條例ヲ設ケ或改正スル事
 - 二 學藝、美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物品ノ賣却讓與賣入交換若クハ大ナル變更ヲ爲ス事
- 第百二十二條 左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 一 新ニ市ノ負債ヲ起シ又ハ負債額ヲ増加シ及第百六條第二項ノ例ニ違フモノ但償還期限三年以内
ノモノハ此限ニ在ラス
 - 二 市特別稅並使用料、手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
 - 三 地租五分ノ一其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事
 - 四 間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事
 - 五 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ補助スル歩合金ニ對シテ支出金額ヲ定ムル事

●市制第百二十二條第一號「新タニ市ノ負債ヲ起シ」トハ起債ノ當時負債ナ
キ場合ヲ云フ故ニ舊債權償還ノ爲ニスル負債ハ許可ヲ要セス(二七年第三六號
二八、五、一)

宣 裁決不服ノ訴

第二百三十三條 左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ府縣參事會ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 市ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ或改正スル事
- 二 基本財産ノ處分ニ關スル事(第八十一條)
- 三 市有不動産ノ賣却讓與買入書入ヲ爲ス事
- 四 各個人特ニ使用スル市有土地使用法ノ變更ヲ爲ス事(第八十六條)
- 五 各種ノ保證ヲ與フル事
- 六 法律勅令ニ依テ負擔スル義務ニ非スシテ向五箇年以上ニ亘リ新ニ市住民ニ負擔ヲ課スル事
- 七 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ニ附加稅ヲ賦課スル事(第九十條第二項)
- 八 第九十九條ニ從ヒ數個人又ハ市内ノ一區ニ費用ヲ賦課スル事
- 九 第一百一條ノ油率ニ據ラスシテ夫役及現品ヲ賦課スル事

第二百四十四條 府縣知事ハ市長、助役、市參事會員、委員、區長其他市吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其懲戒處分ハ譴責及過意金トス其過意金ハ二十五圓以下トス

- 一 市參事會ノ懲戒處分(第六十四條第二項第五)ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ裁決
- ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 二 府縣知事ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 三 本條第一項ニ掲載スル市吏員職務ニ違フコト再三ニ及ビ又ハ其情狀重キ者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者、財産ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務廢ラサル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解クコトヲ得其隨時解職スルコトヲ得可キ者ハ(第六十三條)懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス
- 總テ解職セラレタル者ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲メ解職セラレタル場合ヲ除クノ外退職料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス
- 四 懲戒裁判ハ府縣知事其審問ヲ爲シ府縣參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 市長ノ解職ニ係ル裁決ハ上奏シテ之ヲ執行ス
- 監督官廳ハ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ停止スルコトヲ得

◎ 市制第二百二十四條ニ基キテ府縣知事ノ行ヒタル懲戒處分ニ對スル行政訴訟

認ハ市制第一百六條第三項ニ定メタル二十一日ノ期限内ニ提起スルコトヲ要ス(三三三、三五七、三六一、三六六號 懲戒處分取消ニ關スル訴(四二卷九頁))

第百二十五條 市吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲メ市ニ對シテ賠償ス可キコトアルトキハ府縣參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但出訴ヲ爲シタルトキハ府縣參事會ハ假ニ其財産ヲ差押フルコトヲ得

第七章 附則

第百二十六條 此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣指定スル地ニ之ヲ施行ス

第百二十七條 府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間府縣參事會ノ職務ハ府縣知事行政裁判所ノ職務ハ内閣ニ於テ之ヲ行フ可シ

第百二十八條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付市參事會及市會ノ職務並ニ市條例ヲ以テ定ムヘキ事項ハ府縣知事又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ行フヘシ

第百二十九條 社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及フ其地慣習ニ從フ

第百三十條 此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ

告示ス

第百三十二條 明治九年十月第百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第四條、明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ牴觸スル成規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第百三十三條 内務大臣ハ此法律實行ノ責ニ任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布スヘシ此法律中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外東京市・京都市・大阪市及人口二十萬以上ノ市ノ區ニ關シ必要ナル一切ノ事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其區域

第二款 町村住民及其權利義務

第三款 町村條例

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織選任

第二款 町村吏員ノ職務權限

第三款 給料及給與

第四章 町村有財產ノ管理

第一款 町村有財產及町村稅

町 村 制

町 村 制

第二款 町村ノ歳入出豫算及決算

第五章 町村内各部ノ行政

第六章 町村組合

第七章 町村行政ノ監督

第八章 附則

町 村 制

第一章 總 則

第一款 町村及其區域

第一條 此法律ハ市制ヲ施行スル地ヲ除キ總テ町村ニ施行スルモノトス

第二條 町村ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡町村公共ノ事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自
ラ之ヲ處理スルモノトス

◎町村制第二條ニ所謂町村公共ノ事務トハ町村ノ公益ニシテ町村自ラ當然
處理スヘキ事務ヲ指稱セルモノトス(三八年第二五八號 四〇四一號 四一號 四二號 四三號 四四號 四五號 四六號 四七號 四八號 四九號 五〇號 五一號 五二號 五三號 五四號 五五號 五六號 五七號 五八號 五九號 六〇號 六一號 六二號 六三號 六四號 六五號 六六號 六七號 六八號 六九號 七〇號 七一號 七二號 七三號 七四號 七五號 七六號 七七號 七八號 七九號 八〇號 八一號 八二號 八三號 八四號 八五號 八六號 八七號 八八號 八九號 九〇號 九一號 九二號 九三號 九四號 九五號 九六號 九七號 九八號 九九號 一〇〇號) 不當町稅賦課取消ノ訴(一)

一八輯二卷一五二頁

◎町村制第二條ニ所謂町村公共ノ事務トハ町村カ義務トシテ若クハ其公益
上行ハサルヲ得サル事務ヲ指稱シ女子師範學校敷地ノ補償ノ如キハ之ヲ
包含セス從テ町村カ該補償費ヲ町村稅トシテ賦課スルハ違法ナリ(三八年第
三九七號 九號) 町稅賦課取消ノ訴(一七輯六卷四五七頁)

〔同趣意〕町村制第二條ニ所謂町村公共ノ事務トハ町村カ義務トシテ若クハ其公益上行ハサルヲ得サル

事務ヲ指稱ス從テ佛教中學ニ對スル寄附ノ如キハ之レヲ包含セス(三六年第五〇四號三七、九、三〇宣
告宗教學寮改築ニ付町會ノ決議ヲ以テ寄附金ヲ爲シタル件ニ付テノ訴)〔一五輯七卷七一頁〕

◎農會ハ町村團體ノ利益ト直接ノ關係ヲ有スルニアラサレハ町村ニ於テ之ニ補助費ヲ與フルハ町村制第二
條ノ範圍ヲ超逸スルモノトス(三五年第一五七號三五、六、一三宣告村稅取消請求ノ訴)〔五四卷四五頁〕

第三條 凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スルコトアルトキハ此法律ニ準
據ス可シ

第四條 町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議
決シ内務大臣ノ許可ヲ受ケ可シ

町 村 制

町村境界ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル町村會及地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ議決ス

町村ノ資力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘス又ハ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラズ町村ヲ合併シ其境界ヲ變更スルコトアル可シ

本條ノ處分ニ付其町村ノ財産處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ議決ス可シ

第一項

◎分村ノ場合ニ於ケル當年度經費剩餘金ハ縣參事會ノ議決ニ依リ處分スヘキモノナリ故ニ其議決ナキトキ分村後事務引繼結了迄從前ノ豫算ニヨリテ其儘混同支出シタルモノ不當ニアラス(三九年第二九號 三九七年七月一〇號 損害賠償ニ關スル訴訟)

第二項

◎町村境界ノ變更トシテ郡參事會ノ議決シタル事項ハ其實町村ノ分合ナリト主張シ該議決ノ取消ヲ請求スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ

(三四年第九五號 三四年七月一〇號 宣告) 不法裁決取消ノ訴(四八卷四一頁)

◎一町村内ノ一字ニ在ル土地ヲ他ノ字ニ編入シタル町村會ノ處分ヲ不當トスル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三四年第六四號 三四五年一〇號 裁決) 町會不當處分取消ノ訴(四四卷七二頁)

◎郡參事會カ町村境界ヲ變更スルノ議決ヲ爲スニ當リ關係町村會ノ意見ヲ聞カサルモ其議決ハ無効ニアラス(三〇年第三六號 三〇年十一月一號 宣告) 爭論地籍決定ノ訴(二二卷四二頁)

◎郡參事會ハ何時ニテモ町村ノ境界ヲ變更スルノ議決ヲ爲スコトヲ得(三〇年第三六號 三〇年十一月一號 宣告) 爭論地籍決定ノ訴(二二卷四一頁)

◎町村ノ境界ヲ變更スル郡參事會ノ議決ニ對シ訴願及訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三〇年第三六號 三〇年十一月一號 宣告) 爭論地籍決定ノ訴(二二卷四二頁)

【同趣旨】郡參事會カ町村境界ノ變更ヲ議決シタルト不當トスル事件ニ對シ町村制其他ノ法令中行政訴訟ヲ認メタル條項ナシ(二八年第二六號二八、三、二三裁決郡參事會不當處分取消ノ訴)

◎町村境界變更ノ處分ヲ爲シタルコトヲ郡長カ地主ニ報導セサルヲ不法ナリト主張スル事件ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(三〇年第七〇號 三〇年一〇七號 違法處分取消ノ訴)

◎甲村所屬ノ飛地ヲ乙村ニ編入シタル處分取消請求ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(二六年第九三號 二六年一〇二三號 飛地編入不當處分取消ノ訴)

◎町村制第四條ノ規定ニ基キ縣參事會カ議決ヲ以テ甲村所屬ノ土地ヲ乙村ニ編入シタル處分ニ對シ町村制中出訴ヲ許ス明文ナシ(二三年第三三號 二四年二九號 六方野所屬變更ノ訴)

第五條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ縣參事會之ヲ裁決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アルモノハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎原告村ノ舊戸長又ハ大字總代カ文書ヲ以テ係争地ノ被告村ニ屬スルコトヲ認諾シタル場合ト雖モ其認諾ハ村界ニ關スル地籍ニ何等ノ效力ヲ及ホ

サス(三六年四一八號 三八一、二、四宣告 村界爭論ノ訴)〔一六輯一—卷九九九頁〕

◎地籍未定ノ地カ甲乙孰レノ村ニ屬スヘキヤノ争ハ町村制第五條ニ所謂町村ノ境界ニ關スル爭論ニアラス(三五年第五號 三六、三、一八宣告 村界爭論事件)〔一四輯二卷一四三頁〕

◎神領地ト村域トハ各別箇ノ性質ヲ有シ必ス隨伴又ハ合體スヘキモノニアラサレハ他ニ證據ナキ限りハ神領地ヲ以テ村域ト認ムルコトヲ得ス(三五年三六、三、一八宣告 村界爭論事件)〔一四輯二卷一四三頁〕

◎町村制第五條ハ町村ノ境界ニ付キ兩村間爭論アル場合ニ適用スヘキ規定ニシテ境界ニ付キ爭論ナク單ニ行政廳ノ境界變更ノ處分ニ不服アル場合ニ適用スヘキ規定ニアラス(三五年第一九二號 三五年第六、四號 境界變更處分違法ノ訴)〔五四卷二六頁〕

◎原被立會ノ上調製シタル圖面ニ依リ境界明確ナル以上ハ爾後論地ニ對スル納稅ノ事實ヲ以テ自己ノ地域内ナリト主張スルノ證據ト爲スニ足ラス

〔二八年第四四號 縣參事會裁決不服ノ訴〕

◎町村制第五條ニ所謂町村ノ境界ニ關スル爭論云々トハ單ニ町村境界ヲ爭フ場合ヲ謂フ故ニ彼我ノ間ニ爭ナキ境界ノ變更即地籍組替ノ請求ノ如キハ同條ニ據リ訴ヲ提起シ得ルノ限リニアラス〔二八年第四九號 村境界確定ノ裁決不服ノ訴ニ關スル妨訴抗辯〕

◎町村制第五條ハ市町村互ニ境界ヲ爭フ場合ノ規定ナリ隨テ郡長カ町村ノ境界ヲ定ムル爲メニ發シタル訓令取消ノ請求ニ適用スヘキモノニアラス〔二七年第四一號 違法訓令取消請求ノ訴〕

◎地形或ハ論地ニ通スル道路ノ多少ノミニ依リ村界ヲ判定スルヲ得ス〔二六年第四六號 村界指示ニ關スル山形縣參事會ノ裁決不服ノ訴〕

◎川ノ全部從前甲村ニ屬シ爾後村界ヲ變更シタル確證ナキニ於テハ其村界ハ川ノ中央ナリト認ムルヲ得ス〔二四年第五七號 村界爭論ノ訴〕

第二款 町村住民及其權利義務

第六條 凡町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其町村住民トス

凡町村 民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物並町村有財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但特ニ民法上ノ權利及義務ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

◎本籍タル甲村ニ家族ヲ留メ置キ自己ノ名ヲ以テ諸稅ヲ納ムル者ハ單身乙町ニ寄留スルモ依然甲村ニ住所ヲ現有スルモノトス〔三四年第二七號 村會議員選舉取消ノ訴〕〔五一卷六二頁〕

◎住所ハ一個ニ限ルノ規定ナシ〔三三年第一七五號 郡會議員當選無効ノ訴〕〔四三卷九三頁〕

◎町村住民タル資格ハ事實上住居ノ有無ニ據リ之ヲ決スヘク本籍若クハ寄留ハ住民タル資格ノ得喪ニ關スル必要條件ニアラス〔三三年第一七五號 郡會議員當選無効ノ訴〕〔四三卷九三頁〕

〔同趣旨〕本籍以外ニ轉籍セシコトナキヲ以テ必スシモ本籍地ノ住民ナリト謂フヲ得ス〔三二年第一七八號三三、三、一二宣告知事ノ裁決不服ノ訴〕〔三五卷三頁〕

◎町村制第六條ニ所謂町村住民トハ本籍ノ存スルト否トテ問ハス現ニ其町村ニ住居スル者ヲ指ス(三二年第七八號三三、三、一二宣告知事ノ裁決不服ノ訴)【三五卷三頁】

◎町村ノ住民ニシテ他所ニ寄留スルモ依然其原籍地ニ住居ヲ有スルトキハ其町村ノ住民タリ(三〇年第六〇號三一、五、七宣告村會議員當選取消ノ訴)

◎町村住民タル資格ヲ取得スル必要條件ハ本籍寄留ヲ問ハス事實上住居ノ有無ニ依テ決定セラルヘキモノトス故ニ其住所モ亦一人一個ニ限ルトノ規定ナシ(二八年第六〇號二九、五、一九宣告村長當選無効ノ訴)

◎住居ノ移轉ハ戶籍法ニ關スル公式ノ手續ヲ行フニ非サレハ公認スヘキモノニ非ス(二五年第六九號二六、三、二九宣告 村會議員選舉效力ニ關スル訴)

第七條 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)町村ノ住民トナリ(二)其町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)其町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接間接年額二割以上ヲ納ムル者ハ其町村公民トス其公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得
此法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歳以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

第一項

◎町村制第七條ハ公民ノ資格要件タル地租ノ納額ニ付キ何等ノ制限ヲ設ケサレハ厘位ニ滿タサル地租ノ納稅者ト雖トモ公民タルニ妨ケナキモノトス(三九年第二四號四〇、三、一三宣告 村會議員選舉人名簿ノ正否ニ關スル訴)【一八輯一卷八三頁】

◎甲者カ前戶主タル乙者ノ死亡ニ因リ家督ヲ相續スルト同時ニ乙者所有ノ土地ヲ獲得シタルモ其名義書替ノ手續ヲ履踐スルコトナク依然乙者ノ名義ヲ以テ地租村稅地價割等ヲ納付セル場合ニハ甲者ハ町村制第七條ノ所謂「其町村内ニ於テ地租ヲ納メ」トアルニ該當スルヲ以テ村會議員ノ選舉權ヲ得ス(三八年第二二八號三九、五、二五宣告 村會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴)【二七輯四卷二八四頁】

◎既ニ土地ノ所有權ヲ取得シタル以上ハ其取得ト同時ニ納稅義務發生スルヲ以テ偶々徵稅手續上本人ヨリ納付セサルコトアルモ町村負擔ノ分任ニ影響ヲ及ホスコトナシ(三四年第一七四號三二、一、一四宣告 縣參事會不當裁決取消ノ訴)

⑤ 選舉人確定名簿ニ登録セラレタル者カ自家ヲ廢ンテ他家ニ入ルモ町村制ノ定ムル公民ノ要件ニ缺クル所ナキ以上ハ其公民權ニ影響ヲ及ホスコトナシ(三〇年第六〇號 三四、七、五宣告) 村會議員當選取消ノ訴(四八卷四頁)

⑥ 町村公民ノ資格要件タル納稅額ニハ郡制第六條第三項ノ規定ヲ適用セス(三二年第二三三號 三三、七、一〇宣告) 郡會議員當選ノ訴(三九卷一頁)

〔同〕(三三年第八〇號三三、一〇、八宣告) 郡會議員選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴(三九卷一、二二頁)

⑦ 二年以來村稅タル地價割ヲ納來リタル者ハ町村制第七條ニ所謂其町村ノ負擔ヲ分任セル者トス(三三年第一號 三三、五、七宣告) 縣會議員當選無效ノ訴(三五卷一一、二二頁)

⑧ 亡父ノ所有財産ヲ相續シタル者カ所有名義ノ書換ヲ爲サ、ルモ實際租稅ヲ納付シ來リタル以上ハ納稅者タルノ資格ヲ有ス(三二年第九號 三二、二、二七宣告) 村會議員違法選舉取消ノ訴(三三卷一三八頁)

⑨ 家族ノ納稅ハ戶主ノ納稅資格ニ合算セス(三二年第三六號 三二、五、二九宣告) 不當裁決取消ノ訴

〔三〇卷六〇頁〕

⑩ 區有田畑ヨリ生スル米穀ハ區ノ必要ナル支出ニ充テ尙殘餘アルトキ區内各戶不平等ニ分配シ來リタル慣例アル場合ハ其増分配ヲ受クルノ一事ヲ以テ直ニ町村制第七條ニ所謂公費ヲ以テ救助ヲ受ケタルモノト謂フヲ得ス(三〇年第七號 三〇、四、九宣告) 村會議員選舉取消ノ訴

⑪ 町村制第七條ニ所謂公費トアル中ニハ單ニ町村ノ公費ノミニ止マラス況ク地方稅備荒儲金等ヲ包含ス(二九年第一六號 二九、五、二二宣告) 村會議員定期半數改選選舉取消ノ訴願ニ對スル裁決不服ノ訴

〔同趣旨〕 町村制第七條第一項末段ノ所謂公費中ニハ町村ノ公費、地方稅及備荒儲金等ヲ包含ス(二七年第一八號二七、四、二〇宣告) 町會議員選舉人名簿更正請求ノ訴願ニ付縣參事會ノ裁決ニ不服ノ訴

⑫ 實際村稅ヲ納ムル資格アル者ニシテ本人カ之ヲ納メサルハ理事者ノ過誤ニ依リ賦課セサリシ爲ナルニ於テハ之ヲ納稅者ニ非スト謂フヲ得ス(二八年九〇號 二九、二、二七宣告) 違法選舉取消請求ノ訴

◎町村制第七條ニ於テ町村民ノ資格ヲ定ムル要件ノ一タル地租ヲ納ムル者トハ其町村内ニ於テ土地ノ所有權ヲ行ヒ又納税ノ義務ヲ負フヘキ資格ヲ併有スル者ヲ謂フモノニシテ私約ニ基キ一定ノ期間地租諸役等相勤ムル如キハ公民タル資格ノ要件ト爲スヘキモノニ非ス(二八年第六六號 二九一、一二二宣告 日吉村々會議員選舉人名簿修正ニ關スル訴)

◎町會カ相當ノ理由アリト認め町村制第七條ノ特免ヲ議決シタルハ違法ニアラス(三五年第六二號 二六、四、一七宣告) 町會ノ議決ニ關スル執行停止命令取消ノ訴

◎村會ハ町村制第七條ニ基キ其議決ヲ以テ町村民ノ資格ヲ得ルニ必要ナル年限ヲ特免スルコトヲ得(二三年第二號 二二、二、二六宣告) 違法選舉取消請求ノ訴

◎所得税法ハ徵稅上單ニ戸主ヲ以納稅者ト認ムルニ過キス故ニ實際ニ納稅ヲナシタル者ハ亦納稅者タルノ資格ヲ有ス(二三年第三號 二二、二、二一宣告) 公民權有無ノ爭論ノ訴

第二項

◎府縣會議員選舉ノ當時町村制第七條ニ所謂一戸ヲ構ヘサル者ハ被選舉權ヲ有セス(三六年第五〇號 三七、二、二八宣告) 不當裁決取消請求ノ訴(一五輯一一卷九八三頁)

◎前後十數年間村會議員又ハ常設委員トナリ且選舉前二年以來戸別割ヲ納メタル者ハ一戸ヲ構ヘタル獨立ノ男子ナリ(三五年第六八號 三五、七、七宣告) 村會議員選舉ニ關スル裁決取消ノ訴(五五卷二六頁)

◎戸主ト同居同炊スル者ハ別ニ一戸ヲ構フル者ト謂フヲ得ス從テ公民權ノ資格ヲ具備セサルモノトス(三四年第一六七號 三四、二、二三宣告) 村會議員資格ニ關スル訴(五〇卷一〇七頁)

◎町村制第七條ニ所謂獨立ノ男子トハ二年以來獨立ノ男子タルコトヲ要ストノ意義ニアラス(三二年第九〇號 三二、二、二七宣告) 村會議員違法選舉取消ノ訴(三三卷一三七頁)

【同趣旨】町村制第七條ニ所謂獨立ノ男子トハ二年以來一戸ヲ構フルコトヲ要スルノ意義ニアラス(三一年 第九四號三一、一一、二八宣告) 不當裁決取消選舉名簿ヲ正淨ニ修正ノ訴(二八卷六頁)

◎町村制第七條第二項ニ所謂獨立ノ男子トハ二年以來一月ヲ構フルコトヲ要スルノ意ニアラス(三一年第九四號三一、一一、二八宣告不當裁決取消選舉名簿ヲ正憲ニ修正ノ訴)

◎他ノ要件ヲ具備スルモ一戸ヲ構フルノ事實ナクハ町村制第七條ニ所謂獨立ノ男子ニ非ス(二五年第一〇號 不當選舉取消ノ訴願栃木縣參事會裁決不服ノ訴)

◎幼時ヨリ親戚ノ家ニ同居同爨シ獨立ノ事實ナキ者ハ町村制第七條ニ所謂一戸ヲ構ヘタル獨立ノ男子ト謂フヲ得ス(二四年第四號 公民權有無不當ノ訴)

◎町村制第七條第二項ニ一戸ヲ構ヘタルハ戸主ト非戸主トヲ問ハス一戸ヲ構ヘ獨立ノ生計ヲ營ム者ヲ云フ(二三年第三號 公民權有無爭論ノ訴)

第八條 凡町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラルルノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ町村公民ノ義務ナリトス
左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス
一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
二 營業ノ爲メニ常ニ其町村内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齡滿六十歳以上ノ者
四 官職ノ爲メニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
五 四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間町村議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六 其他町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者
前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ町村會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其町村公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔ス可キ町村費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得
前項町村會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

◎町村ノ共有財産及營造物管理常設委員ハ町村制ニ所謂町村ノ名譽職ナリ
(三三年第五三號 不當議決取消ノ訴) (三七卷九九頁)

第一一項

◎町村事務ノ紊亂若クハ多數村民ノ狼藉等ノ事實ハ名譽職ヲ退クノ理由ト

爲ラス(三四年第一六號 一宣告 縣參事會ノ裁決ニ對スル不法議決取消ノ訴)〔四七卷二頁〕

◎名譽職ニ在ル者カ辭職届ヲ提出シタル時ハ其提出ト同時ニ退職シタルモノトス(三三年第一九號 九宣告 郡會議員當選效力ニ關スル訴)〔四〇卷八九頁〕

〔同趣宣〕村會議員ノ職ニ在ル者カ辭職届ヲ提出スルトキハ即チ退職シタルモノニシテ村會ノ議決ヲ俟テ後退職者ト爲ルニ非ス(二七年第六五號 二七、二八、二九宣告 公民權停止村費増課議決取消ノ訴)

〔同〕(二七年第六四號 二七、二八、二九宣告 公民權停止議決取消ノ訴)

◎村治上ノ意見投合セストノコトハ名譽職ヲ拒辭スル正當ノ理由ニアラス(三三年第五三號 三三、三六、二九宣告 不當議決取消ノ訴)〔三七卷九九頁〕

◎家族中ニ疾病者アリトノコトハ名譽職ヲ拒辭スルノ理由ト爲スニ足ラス(三三年第五四號 三三、三六、二九宣告 不當裁決取消ノ訴)〔三七卷一〇五頁〕

◎普通水利組合ノ夫役現品取扱人タルノ職務ニ在リトノ故ノミヲ以テ町村ノ名譽職タル區長代理者ノ任ヲ拒辭スルノ理由ト爲スニ足ラス(三二年第一二三三號 二三、二四、二五宣告 不當裁決取消請求ノ訴)〔三五卷四七頁〕

◎村會議員兼學務委員タル者疾病ノ故ヲ以テ其職務ニ比シ繁劇ナラサル常設委員ノ當選ヲ辭シタルハ不當ナリ(二七年第六二號 二七、二八、二九宣告 不當裁決取消及不當議決取消ノ訴)

◎議長非難ノ事實及不正ノ議員アリテ神聖ナル議決ヲ要ムル能ハスト稱スル事實ハ村會議員辭職ノ正當ナル理由ト爲ラス(二七年第六五號 二七、二八、二九宣告 公民權停止村費増課議決取消ノ訴)

◎村民カ納稅期日ヲ過リ財產差押ノ處分ヲ受ケタルノ事實ハ村會議員ヲ辭退スル理由ト爲スニ足ラス(二七年第六四號 二七、二八、二九宣告 公民權停止議決取消ノ訴)

◎名譽職ノ辭退ニ關スル理由ノ當否ヲ判斷スルハ一ニ村會ノ權限ニ屬ス(二三年第一〇九號 二六、二七、二八、二九宣告 村會議員辭職届ニ關スル不當處分取消請求ノ訴)

◎癡麻斯症ニシテ慢性ニ陥ルモ計リ難シトノ診斷ハ未タ以テ議員ノ職ニ堪ヘサルノ理由ト爲スニ足ラサルノミナラス該診斷書ハ當時村會ニ提出セ

ナル事後ノ舉證ナレハ之ヲ以テ村會議決ノ當否ヲ爭フヲ得ス(二六年第一〇九二三宣言) 村會議員辭職届ニ關スル不當處分取消請求ノ訴

〔同趣旨〕村會ノ議決ニ對スル訴願ニ於テ始メテ辭職ノ理由ヲ證明シ以テ其議決ノ當否ヲ論スルヲ得ス(二五年第一四〇號二六、五、三〇宣言村會議決取消ノ訴)

◎ 疾病ヲ理由トスル名譽職拒辭者カ其辭職數月前ニ爾仲買營業ヲ爲シタルノ事實ハ公務ニ堪フル理由ト爲スニ足ラス(二四年第三〇號一〇、一宣言) 組合村助役退職願ニ關シ不當處分ノ訴

◎ 疾病ヲ理由トスル名譽職ノ拒辭ニ對シ村會カ之ヲ理由ナキモノト議決スルニ當テハ事實其職ニ堪フル確認アルヲ要ス(二四年第三〇號一〇、一宣言) 組合村助役退職願ニ關シ不當處分ノ訴

◎ 鑛泉ニ浴シタルコトナキ事實ハ鑛泉ニ浴スルニ非ラサレハ治癒シ難シトアル醫師ノ診斷書ヲ不正トスル理由ト爲ラス(二四年第三〇號一〇、一宣言) 組合村助役退職願ニ關シ不當處分ノ訴

第二二項

◎ 村會カ町村制第八條ニ依リ公民權停止村稅增課ヲ議決シタル後自カラ其議決ヲ取消シ後更ニ取消ノ議決ヲ取消シテ之ヲ復活セシメタルヲ不當トスル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三四年第二三五號三五、二、一四裁決) 不當議決取消ノ訴(五一卷二八頁)

◎ 正當ノ理由ナクシテ村會議員ヲ退職シタル者ニ對シ村會カ公民權停止ノ議決ヲ爲シタルハ適法ナリ(三三年第一三〇號三三、一、一五宣言) 公民權停止不當ノ訴(四〇卷六七頁)

◎ 村會カ正當ノ理由ナクシテ村會議員ヲ退職シタル者ニ對シ町村制第八條第三項ヲ適用シテ公民權停止及村費增課ノ議決ヲ爲シタル後ニ至リ更ニ其解除特免ノ議決ヲ爲シタルハ越權ナリ(三二年第六七號三二、六、三〇宣言) 公民權停止村費增課特免議決ニ對スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴(三一卷九頁)

◎村會議員ノ職ヲ辭シタルモノニ對シ村會カ其公民權停止及村費增課ヲ議決スルニ當リテハ必スシモ理由ヲ附スルヲ要セス(二五年第一四〇號 二六、五、三〇宣告) 村會議決取消ノ訴)

第四項

◎町村制第八條第四項ハ同條第三項ノ處分ヲ受ケタル者ニ訴願及ヒ訴訟ヲ許シタル規定ニシテ同法第三十七條ニ於ケルカ如ク其處分ヲ爲シタル者ニモ亦之ヲ許シタル規定ニアラス(三七年第三一八號 三八、三、二四宣告) 公民權停止不法裁決取消請求ノ訴(八一六輯二卷一八六頁)

【同趣旨】町村制第八條末項ハ町村會ノ議決ニ依リ公民權ヲ停止セラレ町村費ノ增課ヲ受ケタル者ニ訴願 出訴ヲ許シタル規定ニシテ其議決ヲ爲シタル町村會ニ許シタルモノニアラス(二八年第九三號二八、一、一、二五裁決名譽職追辭ニ關スル裁決不服ノ訴)

◎町村制第八條ノ末項ハ町村會ノ議決ニ據リ公民權ノ停止町村費ノ增課ヲ受ケタル者ノ爲メニ訴願出訴ヲ許シタル規定ニシテ其議決ヲ爲シタル町村會ニ之ヲ許シタルモノニ非ス(二八年第九三號二八、一一、二五裁決名譽職追辭ニ關スル裁決不服ノ訴)

◎町村制第八條ニ基ク町村會ノ議決ニ對シテハ其議決ニ據リ公民權ノ停止町村費ノ增課ヲ受ケタル者ニ非サレハ訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得ス(二五年第六八號二五、一二、二三宣告町會決議權回復ノ訴)

◎多數ノ得票ニ依リ村長ニ當選シタル者ハ未タ知事ノ認可ヲ得サルモ制第八條ニ所謂名譽職ニ該當ス故ニ正當ノ理由ナキ就職ノ辭退ニ對シ村會カ同條第三項ノ議決ヲ爲シタルハ違法ニアラス(二四年第一六號 二六、三、一四宣告) 村會議決處分不當ノ訴)

◎公民權停止ノ議決ニ對シ訴願ノ提起アリタルトキハ其議決ノ執行ヲ停止スヘキモノトス(三二年第一一七號 三二、二、一一宣告) 不當決定取消ノ訴(八一三三卷二五頁)

◎公民權ヲ停止シタル村會ノ議決ニ對シ訴願ヲ提起セントスルトキハ制第二百二十條第二項ノ期間内ニ於テスルコトヲ要ス(二九年第八一號 二九、一二、二一宣告) 不當村稅賦課及不法裁決取消ノ訴ニ對スル妨訴抗辯)

第九條 町村公民タル者第七條ニ揭載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス

町村公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ其裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

町村公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三項ノ場合ニ當ルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタルカ爲メ公民タルノ權ヲ得可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル町村吏員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其職ヲ停止スルコトヲ得

第二項

町村制第九條第二項ニハ單ニ家資分散若シクハ破産ノ宣告ヲ受ケタル時トアルヲ以テ苟モ其宣告ヲ受ケタルモノハ直チニ公民權ヲ停止セララル、モノトス(三三三年第九〇三號、三三六年第九一八號、縣會議員失職決定取消ノ訴)〔一四輯七卷六五一頁〕

〔同趣旨〕家資分散ノ決定ヲ受ケタルトキハ之ニ對スル抗告ノ有無及ヒ其結果ノ如何ニ拘ラス直チニ公民

權ヲ停止セララル、モノトス(三三四年第二〇九號三五、六、二宣言縣會議員資格ニ關スル不當決定取消請

求ノ訴)〔五三卷一三二頁〕

町村制第九條第二項ニ所謂公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキトハ或ル犯罪ノ爲メ公權ヲ剝奪若クハ停止セララルヘキ場合ヲ謂フ而シテ衆議院議員選舉法第八十七條ニ違犯セシ爲メ公判ニ付セラレタル場合ハ同項ニ該當スルモノトス(三五五年第二五七號、三五一年一、八宣言縣會議員失職決定取消ノ訴)〔五七卷五七頁〕

町村稅ヲ其納期ニ至リ納付セサルモ滯納處分ヲ受クルニアラサレハ未タ以テ町村公民タルノ資格ヲ欠キタルモノト云フヲ得ヌ(三三三年第九五號、三三三年一〇、一九宣言縣參事會不當裁決取消請求ノ訴)〔四〇卷六頁〕

〔同〕〔三三三年第九四號三三、一〇、一九宣言縣參事會不當裁決取消請求ノ訴〕〔四〇卷二頁〕

〔同趣旨〕町村制第九條第二項ニ所謂租稅滯納處分中ノ公民權停止ハ滯納者カ現ニ財産差押ノ處分ヲ受ケ

タル時ヨリ始マルモノトス(二六年第二二號二六、七、一〇宣告何會議員當選取消ノ訴)

◎町村制第九條ニ所謂公判ニ付セラレタルトキトハ或者カ犯罪行為アリトシテ公判ヲ求メラレタルトキヲ指稱セルモノトス(三六年第五〇三號(三七、一〇)二八宣告 不當告示及不當決定取消請求ノ訴)(一五輯一〇卷八六三頁)

【同趣旨】村會議員ニシテ公吏侮辱被告事件ノ爲メ輕罪公判ニ付セラレタルトキハ當然其職ヲ失フモノトス(三五年第二九七號三六、七、三宣告不當裁決取消ノ訴)(一四輯六卷五七五頁)

第四項

◎滯納處分ニシテ不當ナリトスルモ其取消サレサル以上ハ之ニ基キテ與ヘタル町會議員失職ノ決定ヲ違法ナリト云フヲ得ス(三五年第四〇號(三五、五、三〇)宣告 不當裁決取消請求ノ訴)(五三卷一一五頁)

◎町長カ重輕罪事件ノ被告トシテ豫審判事ノ訊問ヲ受ケタルトキハ即チ裁判上ノ訊問ナリ故ニ町會ハ直ニ其解職ヲ爲スヘク調査ノ結果解職スヘキモノニ非スト議決スルヲ得ス(二五年第九九號(二六、三、二三)宣告 町長解職ノ件ニ係ル縣參事會ノ裁決不服ノ訴)

ノ裁決不服ノ訴)

◎重輕罪事件ノ爲メ裁判上ノ訊問中ノ者ハ假令後ニ免訴トナルモ其公民ヲ停止シ從テ解職スヘキモノナリ(二五年第九九號(二六、三、二三)宣告 町長解職ノ件ニ係ル縣參事會ノ裁決不服ノ訴)

◎有給村長ニ選舉セラレタル者ト雖モ其當選ニ應シ知事ノ認可ヲ得タルトキハ町村制第五十六條第二項ニ依リ公民權ヲ得ルヲ以テ名譽職村長トシク同制第九條末項ノ規定ヲ適用スヘキモノトス(二六年第一八號(二六、五、一)宣告 村長解職ニ關シ秋田縣參事會ノ裁決不服ノ訴)

第五項

◎町長カ其公民權ヲ停止セララルヘキ場合ニ在ルトキ町會カ解職セサル爲メ監督官廳カ其職ヲ解キタルハ不當ニ非ス(二五年第九九號(二六、三、二三)宣告 町長解職ノ件ニ係ル縣參事會ノ裁決不服ノ訴)

第三款 町村條例

第十條 町村ノ事務及町村住民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設ケタルコトヲ許セル事項ハ各町村ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

町村ニ於テハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設ケルコトヲ得

町村條例及規則ハ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得ス且之ヲ發行スルトキハ地方慣行ノ公告式ニ依ル可シ

◎ 會社ノ合併ニ因ル所有權ノ移轉ハ朱雀野村歩一稅賦課條例ニ所謂讓受ニ包含ス(三五年第一二〇號 三五五年第一二〇號 二六宣言) 歩一稅賦課取消請求ノ訴(五三卷七七頁)

〔同趣旨〕會社ノ合併ニ因ル所有權ノ移轉ハ京都市歩一稅賦課條例ニ所謂讓與ニ包含ス(三五年第三號第 四號三五、五、二六宣言歩一稅賦課取消請求ノ訴)〔五三卷七一頁〕

◎ 官有ノ堤塘ニシテ其修築費ハ縣稅ノ負擔ニ屬スルモノハ町村又ハ區ノ營造物ニアラス(三〇年第四六號 三一、二、一九宣言) 違法夫役割賦課命令取消ノ訴(二三卷七一頁)

◎ 土地收用ノ補償金中損失ノ補償金ヲ包含スト認ムルヲ得サルニ於テハ登記ノ金高ヲ以テ土地ノ價格トシ之ヲ課稅ノ標準ト爲シタルハ不當ニ非ス

(三〇年第二四號 三〇年第六、三〇宣言) 歩一稅賦課取消訴願ノ裁決不服ノ訴

◎ 土地收用法ニヨリテ土地ヲ收用シタル私設鐵道會社ニ對シ町村稅賦課條例中ニ土地ヲ讓受ケタル者トアル規定ヲ適用シテ町村稅ヲ賦課シタルハ不當ニ非ス(三〇年第二四號 三〇年第六、三〇宣言) 歩一稅賦課取消訴願ノ裁決不服ノ訴

◎ 町村役場ノ會計規程ハ町村條例ヲ以テ規定スヘキモノニアラス(二六年第四二六、五、二七宣言) 懲戒處分ニ付縣知事ノ裁決ニ係ル訴

◎ 區學務委員條例ニ委員ノ數ヲ定ムルノミヲ區會ノ權限ト爲シタル場合ニ區會カ委員ノ資格消滅ニ關スル規定ヲ設ケタルハ越權ナリ(二四年第五四號 二五、三、三一宣言) 區會ノ解釋及權限ニ關スル府知事ノ裁決不服ノ訴

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其町村ノ選舉人其被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員ハ其町村ノ人口ニ準

町 村 制

シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム但町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

- 一 人口千五百未満ノ町村ニ於テハ 議員八人
- 一 人口千五百以上五千未満ノ町村ニ於テハ 議員十二人
- 一 人口五千以上一萬未満ノ町村ニ於テハ 議員十八人
- 一 人口一萬以上二萬未満ノ町村ニ於テハ 議員二十四人
- 一 人口二萬以上ノ町村ニ於テハ 議員三十人

第十二條 町村公民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但其公民權ヲ停止セララルル者(第八條第三項、第九條第二項)及第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ在ラス

凡内國人ニシテ公債ヲ有シ直接町村稅ヲ納ムル者其該町村公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨ
モ多キトキ第七條ノ要件ニ當ラスト雖モ選舉權ヲ有ス但公民權ヲ停止セララルル者及第九條第三項
ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

第一項

◎ 村内一部ノ負擔ニ屬スル水利土功費ハ村稅ニアラサルヲ以テ選舉資格ニ

合算スヘキモノニアラス(二七年第八號、二七、五、一宣告) 村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴
〔同〕(二六年第五四號二六、七、一〇宣告) 選舉效力ニ關シ違法裁決取消ノ訴

第二項

◎ 公民ニアラサル未成年者カ町村制第十二條ノ規定ニ依リ多額納稅ノ廉ヲ
以テ選舉權ヲ有スル場合ニ於テハ其後見人ハ選舉權ノ行使ニ付テモ當然
之ヲ代表スルモノトス(三四年第二三三號、三五、三、一〇宣告) 村會議員選舉取消ノ訴(五一卷一一
一頁)

第三項

◎ 人民相互ノ私約ニ成レル私立會社ハ町村制第十二條末項ニ所謂法律ニ從
テ設立シタル會社ニ該當セス(二五年第六四號、二五、一、二一宣告) 村會議員選舉人名簿登錄請求
ノ訴

第十三條 選舉人ハ分テ二級ト爲ス

町 村 制

町 村 制

選舉人中直接町村税ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ル可キ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス

一級二級ノ間納税額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納税者二名以上アルトキハ其町村内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齢ヲ以テシ年齢ニモ依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ

選舉人毎級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ選舉セララルコトヲ得

⑤等級ノ區別ヲ誤リタル選舉人名簿ニ依リ行ヒタル選舉ハ町村制第十三條ノ規定ニ違背スルヲ以テ全部無効タリ(二九年第三六號 二九一四宣告) 村會議員一級選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴

⑥村會議員ノ選舉資格ヲ定ムヘキ納稅負擔額ヲ納稅義務ノ生シタル當月ヨリ算出シタルハ町村制第十三條ノ規定ニ違背シタル不法アリ(二九年第七號 二九一四宣告) 村會議員選舉取消請求ノ訴

⑦夫役ハ金額ニ算出シテ賦課スルモ其性質一般町村税ノ如ク本來金圓ヲ以

テ賦課スヘキモノト異ナル故ニ普通村税ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ徵收スルモ其異性質タル村税ト混同シテ町村制第十三條ノ直接町村税ノ納額ニ算入スヘキモノニ非ス(二八年第七號 二九一四宣告) 縣參事會議決不服ノ訴

第十四條 特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉ノ特例ヲ設クルコトヲ得

第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民(第十二條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲グル者ハ町村會議員タルコトヲ得ス

- 一 所屬府縣郡ノ官吏
- 二 有給ノ町村吏員
- 三 檢察官及警察官吏
- 四 神官僧侶及其他諸宗教師
- 五 小學校教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ

代官人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辦スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員

町 村 制

ニ選舉セラルルコトヲ得ス

父子兄弟タルノ縁故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

町村長若クハ助役トノ間父子兄弟タルノ縁故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其縁故アル者町村長若クハ助役ニ選舉セラレ認可ヲ受クルトキハ其縁故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ

第一項

④ 選舉前ニ選舉權ヲ得タル者ハ選舉名簿ニ登錄セラレサル者ト雖トモ被選舉權ヲ有ス(三二年第三〇號 三二、一〇、一六宣告) 村會議員當選無効ノ訴(三〇卷七一頁)

⑤ 町村制中別ニ現任議員ニ對シ被選舉權ヲ有セシメサル特例ナキヲ以テ現ニ議員ノ職ニ在ル者ト雖モ尙被選舉權ヲ有スルモノトス(二九年第三號 二九、六、五宣告) 村會議員當選效力ニ關スル訓令取消請求ノ訴

第二項

⑥ 町村制第十五條第二項ニ所謂議員タルコトヲ得ストハ議員ヲ兼スルコトヲ禁シタルノ趣旨ニシテ被選舉權ヲ有セシメサルノ法意ニアラス(三五年第一〇宣告 三五、七、一〇) 村會議員選舉取消請求ノ訴(五五卷五九頁)

〔同趣旨〕 町村制第十五條第二項ハ町村會議員ヲ兼スルヲ得サルモノヲ列記セシモノニシテ被選舉權ヲ失ハシムルノ法意ニ非ス(二八年第四六號 二八、一〇、二四宣告) 村會議員當選取消命令取消ノ訴

〔同〕(二八年第八〇號 二九、二、四宣告) 村會議員選舉效力ニ關スル訴

⑦ 町村制第十五條第二項第二ニ所謂有給ノ町村吏員トハ有給吏員ノ屬スル町村ヲ指シタルモノトス(三五年第一七一號 三五、七、一一宣告) 村會議員當選ノ效力ニ關スル訴(五四卷一一一頁)

⑧ 町村制第十五條第一項ハ選舉權ヲ有スル公民ハ總テ被選舉權ヲ有ストノ原則ヲ揭ケ其第二項ハ府縣郡官吏以下ノ者ニ對シ單ニ町村會議員タルコトヲ得スト規定セシニ過キササルヲ以テ是等ノ者ハ被選舉權ヲ有シ其吏員タ

ル職務ヲ辭スル以上ハ當選ニ應スルコトヲ得ルモノトス(二九年第六號 二九五年一四宣告 村會議員選舉ニ關スル縣參事會裁決不服ノ訴)

第四項

◎裁判所構内ニ於テ代書業ヲ營ムノミヲ以テ町村制第十五條第四項ニ該當スルモノトイフヲ得ス(三二年第四五號 三二一六一六宣告 町會議員當選效力ニ關スル訴)【三〇〇卷九六頁】

第五項

◎配偶者ノ兄弟ハ刑法第十五條ニ所謂兄弟タルノ緣故アル者ニ非ス(二五年第二五、二二、三宣告 村會議員選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴)

【同趣旨】刑法第百十四條ハ親屬例ヲ示シタルニ止リ配偶者ノ兄弟ヲ以テ兄弟ノ緣故アル者ト爲シタルニ非ス(二五年第一〇五號二五、一二、三宣告 村會議員選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴)
第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分ヲ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任ノ議員ハ再選セラルコトヲ得

◎町村制第十六條ニ規定セル議員任期ノ計算ハ曆年ニ據ルヘキモノトス(三九年九一二號 三八七、三第一一宣告 村會議員選舉效力ニ關スル裁決取消ノ訴)【一六ノ七卷五七一頁】

【同】【三四年第一五二號三五、六、一一宣告 縣參事會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴】【五四卷三九頁】
◎三二年第一四二號三三、四、二八宣告 村會議員選舉效力ニ關スル訴【三〇卷二三頁】

◎町村會議員ノ任期滿了前ニ執行シタル改選ノ選舉ハ町村制第十六條ノ規定ニ違背シタルモノニシテ選舉全体ニ影響スル瑕瑾アルモノトス(三四年第三五、六、一宣告 縣參事會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴)【五四卷三九頁】

【同趣旨】村會議員ノ任期ノ計算ハ曆年ニ依ルヘキモノトス從テ任期滿了後數日ヲ經テ執行シタル選舉ハ無効ナリ(三五年第二九六號三五、一二、二二宣告 村會議員選舉取消請求ノ訴)【五七卷九三頁】

◎前任議員ノ在職中後任議員ヲ選舉スルハ町村制第十六條ノ規定ニ違背シ選舉全體ニ影響スヘキ瑕瑾アルモノトス

◎議員ノ滿期前ニ其改選ヲ執行シタルハ議員ノ任期ヲ短縮シタルノ不法ヲ免レス(三二年第一四二號三三、

四、二八宣言村會議員選舉效力ニ關スル訴【三〇卷二三頁】

第十七條 議員中副員アルトキハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フ可シ若シ定員三分

ノ一以上副員アルトキ又ハ町村會町村長若クハ郡長ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト

雖モ其補闕選舉ヲ行フ可シ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選舉トモ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級ニ從テ之カ選舉ヲ行フ可シ

⑤ 増員セラルヘキ村會議員ノ再選舉ニ於テ其四名中二名ハ選舉執行前既ニ任期ヲ滿了シタル時二名ヲ再選舉トシ他ノ二名ヲ直チニ定期改選トシテ選舉セシメタルハ違法ニアラス(三五年第二八一號 三六、四、一宣言 村會議員選舉取消ニ關スル訴)【二四輯三卷二四二頁】

⑥ 村會議員ノ補闕選舉ハ定期改選ト同時ニ行フヘキモノトス(三一年第四三號 三二、三、二四宣言 村會議員選舉取消ノ訴)【二九卷一〇六頁】

⑦ 二級半數改選ヲ行フタルニ其選舉ハ無效トナリ再選舉ヲ行フニ當リ同時

ニ一級補缺選舉ヲ執行スル場合ニ於テハ二級選舉人名簿ヲ新ニ調製スルノ必要アルモノトス(三〇年第五二號 三一、二、一〇宣言 不當裁決取消ノ訴)【二三卷四九頁】

⑧ 議員定數ノ三分ノ一以上副員アルトキ村長カ補闕選舉ヲ行ハスシテ村會ヲ招集シ議決セシメタルヲ不法ナリトスル請求ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(三〇年第六三號 三一、〇、六裁決 違法村會取消ノ訴)

第十八條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其選舉前六十日ヲ限リ選舉原簿ヲ製シ各選舉人ノ資格ヲ記載シ此

原簿ニ據リテ選舉人名簿ヲ製ス可シ

選舉人名簿ハ七日間町村役場ニ於テ之ヲ關係者ノ縦覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ町村長ハ町村會ノ裁決(第三十七條第一項)ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ選舉前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿トナシ之ニ登錄セラレサル者ハ何人ナリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無效トナリタル場合ニ於テ更ニ選舉ヲ爲ストキモ亦之ヲ適用ス

⑨ 選舉原簿ハ之ヲ調製スル當時ノ納稅負擔額ヲ標準トシテ作ルヘキモノト

ス(三一年第二二號) 村會議員二級選舉取消ノ訴(三二一 卷四六頁)
【同】(三一年第二二七號三二、五、三宣言村會議員選舉取消不服ノ訴)【三〇卷二八頁】

◎三一年一三三號三二、五、八宣言村會議員選舉取消不服ノ訴【三〇卷二八頁】
消ノ訴【三〇卷三四頁】

◎町村制第十八條ニ所謂選舉人ノ資格ヲ記載シトハ現ニ選舉權ヲ行使シ得ル者ノ資格ヲ記載スルノ意義ナリ(三二年第九九號)【三一、一二二、二六宣言】不法命令取消ノ訴(二二八 卷七一頁)

◎町村制第十八條第一項ノ期限ハ選舉原簿等ヲ調製スヘキ期限ニシテ公民タル資格ヲ査定スヘキ期限ニ非ス(二八年第九〇號)【二九、二二七宣言】違法選舉取消請求ノ訴

◎町村制第十八條ハ選舉原簿調製ノ期日ヲ限定セリ故ニ若シ此定規ニ違背スルトキハ選舉人ノ權利又ハ利益ニ影響スルト否トヲ問ハス之ニ依テ執行シタル選舉ヲ無効トス(二八年第七九號)【二八、二二九宣言】村會議員選舉效力ニ關スル訴

◎町村制第十八條ニ選舉前六十日ヲ限リトアルハ選舉當日ヲ算入セス其前

日ヨリ起算シ過テ六十日ヲ限ルモノト解釋スルヲ允當トス(二八年第六五號)【二八、二二七宣言】不法命令取消訴願ニ關スル裁決不服ノ訴

◎町村制第十八條第一項ハ名簿ノ調製ニ係ル規定ニシテ選舉權ノ有無ヲ確定スルモノニ非ス(二六年第五四號)【二六、七、一〇宣言】選舉效力ニ關シ違法裁決取消ノ訴

第一一項

◎選舉人名簿ハ選舉ノ當時選舉權ヲ有シ選舉ニ參與シ得ヘキ者ヲ確定スル爲メ設ケラレタルモノニ過キス從テ無資格者ハ該名簿ニ登録シアルモ選舉權ヲ取得スルモノニアラス(三八年第八八號)【三九、二、一二宣言】村會議員選舉效力ニ關スル訴(二七輯一〇卷六一一頁)

◎町村制第十八條第二項ノ名簿修正ニ關スル選舉前十日ノ期間ハ之ヲ減縮スルコトヲ許サス而シテ後期間ヲ計算スルニハ普通ノ場合ト同シク修正ノ當日ヲ算入セサルヲ相當トス(三八年第三二七號)【三九、六、一一宣言】村會議員選舉效力ニ關スル訴(八一七輯四卷三三六頁)

◎町村長カ町村制第十八條第二項ノ法定期間ヲ減縮シ選舉前九日ヲ名簿ニ修正ヲ加ヘタルハ選舉全體ニ影響ヲ及ホスヘキ瑕疵ナルカ故ニ其選舉ハ之ヲ取消スヘキモノトス(三八年第三一七號)村會議員選舉效力ニ關スル訴(二七輯五卷三三六頁)

【反對】選舉人名簿修正後十日以内ニ選舉ヲ執行シタル處措ハ町村制第十八條第二項ノ規定ニ違背スルモノトス然レトモ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ選舉全體ヲ取消スヘキモノニアラス(三五年第二七〇號三五、一一、二二宣告村會議員選舉效力ニ關スル訴)【五六卷一一一頁】

◎町會議員ノ選舉名簿ニシテ一タヒ確定シタル以上ハ其不當ナルコトヲ理由トシテ選舉ノ效力ヲ争フコトヲ得ス(三八年第三一三號)町會議員選舉取消ノ訴(二七輯三卷一九九頁)

◎町村會議員選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ因ルニアラサレハ動カスコトヲ得サルヲ以テ縱令前年度ノ納稅額ヲ標準トシテ開製シタル名簿ト雖モ既ニ確定シタル以上ハ法律上正當ナルモノトス從

テ該名簿ニ依リ執行シタル選舉ハ無効ニアラス(三六年第八一號)村會議員選舉效力ニ關スル訴(二四輯七卷六五九頁)

【同趣旨】町村會議員ノ選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ依ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス從テ假令納稅額査定ノ時期ヲ誤リタル原簿ニ基キ調製セシ選舉名簿ニ依リ執行シタル選舉ト雖違法ナリト云フヲ得ス(三四年第二一六號三五、三、七宣告村會議員選舉取消ノ訴)【五一卷九四頁】

◎適法ノ手續ヲ經テ確定シタル選舉人名簿ハ法律上正當ノモノナルヲ以テ之ニ依リ執行シタル選舉ハ違法ニアラス(三三年第二二八號三四、五、三宣告不法裁決取消ノ訴)【四四卷五九頁】

◎選舉人確定名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外之ヲ動カスコトヲ得ス(三二年第一〇二號三三、七、一〇宣告村會議員選舉取消裁決不服ノ訴)【三九卷一五頁】

【同】(三二年第三四號三三、七、九宣告村會議員選舉效力ニ關スル件)【三八卷八二一頁】

◎(三二年第一八一號三二、七、六宣告村會議員選舉ニ關スル不法裁決取消ノ訴)【三八卷一七頁】

【同趣旨】縱覽期限後ニ於テ關係者ノ訴願ナキニ町長カ町會ノ決議ヲ以テ選舉名簿ヲ修正シタルハ違法ナリ(三二年第三六號三二、五、二九宣告不當裁決取消ノ訴)【三〇卷六〇頁】

◎ 選舉人名簿確定ノ後選舉人數名ヲ追録スルモ選舉前之ヲ削除シタルトキハ其追録ヲ以テ加除修正ト謂フヲ得ス(三五年第六二號 村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔五五卷二〇頁〕

◎ 選舉人名簿ニ登錄セララル、コトハ選舉權行使ノ條件ニシテ被選舉權ノ有無ニ關係ナシ(三〇年第六〇號 三四年七、五宣告 村會議員當選取消ノ訴)〔四八卷四頁〕

◎ 選舉人名簿ノ縦覽期限中關係者ノ訴願アリテ裁決ノ結果名簿ノ修正ヲ爲シタルハ適法ナリ(三三年第二〇一號 三三、一〇、二九宣告 村會議員定期改選選舉會不當ノ訴)〔四〇卷四六頁〕

◎ 確定名簿ニ無資格者ノ登錄セラレタル事實アリトスルモ該名簿ニヨリ執行シタル選舉ハ無効ニアラス(三三年第二〇一號 三三、一〇、二九宣告 村會議員定期改選選舉會不當ノ訴)〔四〇卷四六頁〕

◎ 選舉人名簿ノ確定シタル以上ハ一級二級ノ級別ヲ誤リタルノ事實アリトスルモ其名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ違法ニアラス(三二年第三四號 三三、七、九宣告 村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔二八卷八三頁〕

員選舉效力ニ關スル訴)〔二八卷八三頁〕

〔反對〕無資格者ヲ選舉人名簿ニ登錄シタルカ爲メ級別ヲ誤リタル名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ其結果

ノ異動如何ヲ問ハス全部無効ナリ(三二年第八一號 三二、一一、二八宣告 不當裁決取消ノ訴)〔三三卷一

七一頁〕

◎ 選舉人名簿ヲ調製スルニ當リ選舉人タル資格ノ有無ヲ調査スルハ町村長ノ責務ナリ(三一年第九九號 三二、一一、二六宣告 不法命令取消ノ訴)〔二八卷七一頁〕

◎ 選舉名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ス(三二年第三〇號 三二、二〇、一六宣告 村會議員當選無効ノ訴)〔三二卷七一頁〕

◎ 選舉人名簿調製ノ當時刑事被告人トシテ豫審中ノ者ヲ名簿ニ登載セシハ選舉ノ定規ニ違背ス(三一年第九九號 三二、一一、二六宣告 不法命令取消ノ訴)〔二八卷七一頁〕

◎ 名簿確定力ハ無資格者ニ資格ヲ附與スルノ效果ヲ生スルモノニ非ス故ニ名簿ニ登載セラレタル無資格者カ參與シタル選舉ハ違法ナリ(三一年第三三號 三一、一〇、一〇宣告 村會一級議員選舉ノ效力ニ關スル訴)

④町村制第十八條第二項末段ハ關係者ノ訴願ニ對シ選舉前町村會ノ裁決アリタル場合ノ手續ヲ規定シタルモノナレハ選舉前訴願ノ裁決ニ至ラサルモノアルモ選舉ノ定規ニ違背シタリト謂フヲ得ス(二八年第六八號 一三三三號 三三三號 不當裁決取消ノ訴)

⑤町村制第十八條第二項末段ノ規定ハ町村會カ關係者ノ提起シタル訴願ヲ裁決シタル場合ニ適用スヘキモノニシテ其訴願アリタルトキ町村長ニ於テ同制第四十五條ニ該當スルモノト認メ郡參事會ノ裁決ヲ請ヒタル場合ニ適用セス(二七年第二〇號 二七六、二七〇號 二七〇號 町會議員選舉效力ニ關スル訴)

⑥適法ニ確定シタル名簿ニ依リ選舉ヲ執行シタル後名簿中ニ無資格者ノ登載アルコトヲ發見スルモ之カ爲メ結果ニ異動ヲ生セサレハ其選舉ヲ取消スヘキモノニ非ス(二六年第九號 二六二、二二〇號 不當裁決取消ノ訴)

⑦適法ニ確定シタル選舉人名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ之ヲ違法トスル確實ノ原因ナキ以上ハ取消スヘキモノニ非ス(二五年第一〇一號 二六、一〇、二六號 執行選舉ノ訴)

願ニ對スル青森縣參事會ノ裁決不服ノ訴)

⑧村長ト雖モ名簿修正ノ意見アレハ其確定前即チ縱覽期限内ニ之ヲ村會ニ付シテ裁決ヲ求ムルヲ要ス故ニ縱覽期限後ニ提起シタル訴願ノ裁決ニ基キ名簿ヲ修正シタルハ違法ナリ(二五年第一三五號 二六、四、二九號 村會議員半數改選ノ選舉取消ノ訴)

⑨縱覽期限ハ選舉名簿ヲ變更シタルノ故ヲ以テ延長スルヲ得ス(二五年第七四號 二六、一、二六號 宣選舉名簿縱覽期限違法ノ訴)

第一一項

⑩無效トナリタル二級半數改選及同被欠選舉ノ再選舉ト同時ニ執行スル一級補欠選舉ノ爲メ新調シタル名簿ハ當然舊名簿ニ代リシモノナルヲ以テ其選舉復タ無效トナリタルニ依リ更ニ選舉ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ之ヲ適用スヘキモノトス(三〇年第一〇九號 三一、六、一四號 村會議員選舉取消ニ對スル異議ノ訴)

⑪町村制第十八條末項ノ規定ハ選舉ノ當時其當選ヲ辭スルカ若クハ選舉ノ

無効トナリタル場合ノミニ適用ス(三〇年第五二號 三一、二、一〇宣告) 不當裁決取消要求ノ訴(二三卷四九頁)

◎町村會議員ノ選舉人名簿ハ當選ヲ辭シ若シクハ選舉ノ無効ト爲リタル場合ヲ除クノ外選舉ヲ行フ毎ニ新ニ調製ス可キモノトス(三三年第三〇號 三四、四、二八宣告) 村會議員選舉會取消請求ノ訴

第十九條 選舉ヲ執行スルトキハ町村長ハ選舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數ヲ各級ニ分チ
選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告ス可シ

各級ニ於テ選舉ヲ行フノ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フ可シ

◎選舉會ハ投票終了ノ場合ヲ除ク外定刻前ニ之ヲ閉鎖シ得ルモノニアラス(三八年第二五七號 三九、一、二宣告) 村會議員選舉效力ニ關スル訴(一七輯九卷五九〇頁)

◎村長カ村會議員選舉ノ日時ヲ定メテ公告シタル後其開會時間ヲ増加スルモ選舉權行使ニ何等ノ障害ヲ及ホサ、レハ之ヲ違法トスルヲ得ス(三八年第二五五號 三九、五、二五宣告) 村會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴(一七輯四卷二八四頁)

◎町村會議員ノ選舉期日ニ於テ止ムヲ得サル事由ニ依リ豫定時間ヲ繰下クルモ選舉權ノ行使ヲ阻害セサル以上ハ違法ノ處措ト謂フヲ得ス(三六年第一四三六、一、二、二八宣告) 村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴(一五輯一〇卷九九一頁)

【同趣旨】 止ムヲ得サル事故ニ因リ豫定ノ選舉時間ヲ繰下クルモ之ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス(三四年第二六〇號三五、二、二八宣告) 村會議員選舉效力ニ關スル訴(五一卷七一頁)

◎選舉ノ期日ニ至リ相當ノ理由アリテ豫定ノ時間ヲ繰下ケテ選舉ヲ開始シタルハ違法ニアラス(三二年第六三號三一、六、三〇宣告) 村會議員選舉不當裁決取消ノ訴(三一卷三〇頁)

◎町村制第十九條ノ規定ハ選舉期日ニ至リ正當ノ理由アリテ豫定時間ヲ繰上ケ選舉ヲ開始スル場合ニ適用スヘキモノニアラス(三六年第一四三三六、一、二、二五宣告) 村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴(一四輯一〇卷九七三頁)

◎町村制第十九條ニ規定セル七日ノ期間ハ選舉執行ノ前日ヨリ起算スヘキモノトス(三四年第二四八號 三五、五、五宣告) 違法選舉取消ノ訴(五三卷九頁)

◎村會議員ノ選舉ヲ執行スルニ當リ町村制第十九條ニ所謂選舉前七日ノ期

間ヲ計算スルニ選舉當日ヲ算入シタルハ定規ニ違背シタル無効ノ選舉ナリ(二九年第四八號 九號 當選無効ノ訴願裁決ニ對スル不服ノ訴)

◎町村制第十九條ニ選舉前七日ヲ限リ公告ス可シトアル以上ハ選舉執行ノ前日ヨリ起算シテ公告ヲ爲サ、ル可ラス(二七年第三號 裁決不服ノ訴)

◎町村會議員選舉ノ公告ハ選舉執行ノ日ヨリ七日前ニ爲スコトヲ要ス(三三一九號 不當裁決取消ノ訴)

◎法定ノ期限内ニ公告ヲ爲サスシテ執行シタル選舉ハ町村制第二十九條第三項ニ依リ其全部ヲ取消スヘキモノトス(三三一年第一〇號 六號 不當裁決取消ノ訴)

〔四二卷九九頁〕

◎村長カ其職務停止中ニ爲シタル公告ニ依リテ執行シタル選舉ハ違法ナリ(三二年第八七號 三二二、二二一、八號 村會議員選舉取消ニ關スル訴)

◎止ムヲ得サルノ事由存セサルニ拘ハラヌ一旦公告シタル選舉期日ヲ變更シタルハ違法ナリ(三一年第一四一號 八號 不當裁決取消ノ訴)

◎一旦告示シタル選舉期日ノ時期ニ誤記アルコトヲ發見シ翌日ニ至テ其訂正ヲ爲シタル場合ニ在リテ訂正ノ日ヨリ起算スルトキハ法定ノ期間ニ不足アルモ其訂正ハ選舉ノ期日ヲ變更シタルモノニアラサルヲ以テ訂正前ノ告示ヨリ起算シテ法定ノ期間アルニ於テハ該告示ニ依リテ執行シタル選舉ハ適法ナリ(三二年第二五號 三二二、五、二六號 町會議員選舉取消ニ關スル不當裁決取消請求ノ訴)

◎公告シタル選舉會場以外ニ於テ選舉ヲ執行シタルハ違法ナリ(三一年第八六號 三二一、一二七 町會議員選舉取消ノ裁決ニ對スル不服ノ訴)

〔同趣旨〕選舉前二日ニ至リ同一地内ニ在ルモ選舉會場ヲ豫告外ノ位地ニ移シ殊更ニ區域ヲ設ケ選舉ヲ執行シタルハ即チ選舉會場ノ變更ニシテ町村制第十九條ノ規定ニ反ス(三〇年第一〇〇號三一、六、四 町會議員一級選舉取消ノ訴)

◎豫告シタル投票終了時間後ニ至リテ爲シタル投票ハ無効ナリ(二七年第五號 三二七、四、一六 町會議員選舉效力ニ關スル訴)

◎選舉掛協議ノ上同一地内ニ於テ豫定シタル選舉會場ヲ改ムルハ町村制第十九條ニ反スルモノニ非ス(二五年第一三九號 八宣告 村會議員選舉取消請求ノ訴)

◎町會議員選舉會ニ於テ豫告ノ投票時間ヲ延長シタルハ違法ニ非ス(二五年第一二六、四、一四宣告 町會議員選舉取消ノ訴)

第二一項

◎二級ノ選舉ノ閉會ヲ告ケサル内ニ一級選舉ヲ開始シタルハ一級選舉共ニ違法ナリ(三二年第八二號 縣參事會裁決不服ノ訴) (三三卷一三二頁)

◎町村制第十九條ノ規定ハ二級ノ選舉ヲ執行シ其選舉ヲ閉チタル後一級ノ選舉ヲ行フヘシトノ法意ナリ(三二年第八二號 縣參事會裁決不服ノ訴) (三三卷一三二頁)

◎二級選舉ノ當選者未定ノ間一級選舉ヲ行ヒタルハ違法ナリ(二五年第九〇號 村會議員半數改選選舉會取消ノ訴)

◎甲級選舉不法ナルモ其瑕疵ハ乙級選舉ニ及ハス(二三年第一號ノ一區會議員選舉)

取消ノ訴

第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其代理者ハ其係長トナリ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス

◎選舉掛一人カ投票執行中一時其席ヲ離ル、モ町村制第二十條ノ規定ニ違背スルモノニアラス(三四年第一六〇號 村會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴) (五一卷四六頁)

〔同〕(三四年第五一九號三四、一二、一八宣告不當處分取消請求ノ訴) (五〇卷一三五頁)

◎四名ノ選舉掛中欠席者アルモ出席者二名ヲ下ラサル限りハ一時二名若クハ三名ノ選舉掛ト選舉掛長トヲ以テ選舉ヲ執行スルコトヲ得(三四年第六一號 宣告 不當裁決取消要求ノ訴) (四七卷一〇〇頁)

◎選舉掛長ハ選舉會場取締ノ責任アルヲ以テ其必要上他級選舉人ノ入場ヲ拒絕スル權能アリ(二九年第五四號 三〇、四、一三宣告 村會議員選舉會取消ノ訴)

◎選舉ノ際選舉掛長カ出席シタル事實明白ナルニ於テハ選舉錄ニ其署名ナ

キモ他ノ選舉掛ノミカ選舉ヲ執行シタルモノト謂フヲ得サルノミナラス其署名ナキノ一事ヲ以テ必スシモ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノト謂フヲ得ス(三〇、一、二七宣告) 選舉效力ニ係ル裁決不服ノ訴)

⑤ 町村制第二十條取締云々ノ規定ハ投票ノ受理不受理ニ關スル場合ニ適用シ得ヘキモノニアラス(二八年第七號) 不當裁決取消ノ訴)

⑥ 町村制第二十條ノ選舉掛ハ偶數ヲ以テ組織スルノ規定ナリ故ニ奇數ノ選舉掛及選舉掛長ニ於テ各投票ノ當否ヲ議決シタルハ町村制第二十三條ノ規定ニ違背シタル不法アリ(二六年第八九號) 村會議員選舉效力ニ關スル訴)

〔同趣旨〕町村制第二十條ノ選舉掛ハ偶數ヲ以テ組織スルノ規定ナリ故ニ四名ノ選舉掛中一名缺席ノ儘各投票ノ當否ヲ議決シタルハ選舉ノ定規ニ違背シタル不法アリ(二六年第一六號二六、一一、一八宣告) 會議員選舉取消命令不當ノ訴)

⑦ 町村制第二十條ハ單ニ選舉人中ヨリ選舉掛ヲ選任スヘキコトヲ規定スルニ止マルヲ以テ甲級ノ選舉掛ヲ乙級ノ選舉人中ヨリ選任シタルハ違法ニ

アラス(二六年第一二五號) 村會議員選舉取消請求ノ訴)

⑧ 村會議員選舉ニ付郡書記ヲ以テ選舉掛長ト爲シタル郡長ノ處分ヲ違法ナリト主張スル事件ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(二六年第四八號) 違法選舉取消ノ訴ニ對スル妨訴抗辯)

⑨ 村會議員選舉會ニ於テ選舉掛長タル村長カ一時退席ノ際助役ヲシテ其事務ヲ取扱ハシメタルハ違法ニ非ス(二五年第九五號) 違法選舉取消並再選舉ヲ要ムル訴)

⑩ 村會議員ノ選舉ニ當リ四名ノ選舉掛中二名ノ欠席者アルモ町村制第二十条ニ所謂低數ヲ下ラサルヲ以テ其選舉ハ違法ニアラス(二四年第四三號) 村會議員選舉取消不服ノ訴)

⑪ 選舉掛定員中一時闕席シタル者アルノ故ヲ以テ其選舉ヲ取消スヲ得ヘキモノニ非ス(二四年第一〇號) 村會議員選舉不當取消ノ訴)

第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於

テ協議文ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

◎町村制第二十一條ノ規定ハ選舉ニ關係ナキモノ、濫リニ入場スルコトヲ禁シタルモノニシテ選舉會場取締ノ爲メニ必要ナル警察官ノ入場ヲ禁シタルモノニアラス(三六年第五二四號 三七二二、一二二宣告 村會議員選舉取消ノ訴)【一五號一一卷一〇四三頁】

【同趣旨】町村制第二十一條ハ選舉ニ關係ナキ者ノ妄リニ入場スルコトヲ禁スル趣旨ニシテ選舉會場ノ取締ノ爲メニ必要ナル警察官ノ入場ヲ禁シタルモノニアラス(三四年第一七四號三四、一二、一一宣告 縣參事會不當裁決取消ノ訴)【五〇卷九四頁】

◎選舉掛長カ選舉取締ノ爲メニ警察官ヲ選舉會場ニ入場セシメタルハ違法ニアラス(三二年第五三號三二、六、九宣告 違法裁決取消ノ訴)【三〇卷七一頁】

◎選舉ニ關係ナキ者ト雖モ選舉場取締ノ爲メニ入場セシメタルハ違法ニアラス(二五年第九三號二六、四、一四宣告 町會議員選舉取消ノ訴)

◎選舉開會中無資格者ノ選舉場ニ入ルハ無資格者自ラ同制第二十一條ノ規定ヲ犯スモノニシテ他人ノ施行スル選舉ヲ妨ケテ之ヲ無効ト爲シ得ルモ

ノニアラス(三六年第六九號 三六六、一五宣告 村會議員選舉效力ニ關スル訴)【一四輯五卷五三〇頁】

◎選舉無資格者カ選舉人ノ代人トシテ選舉權ヲ行使スルノ目的ヲ以テ選舉會場ニ入りタルハ町村制第二十一條ノ規定ニ違背スルモ之カ爲メ其選舉全體ニ影響ヲ及ホスヘキモノニアラサレハ同制第二十九條第三項ノ規定ニ該當セス(三四年第八號 三五二、一九宣告 村會議員二級選舉取消ノ訴)【五一卷四一頁】

◎選舉人トシテ召集セラレ選舉會場ニ入場シテ投票ヲ爲シタル後ニ至リ無資格者ナルコトヲ發見セラレタル場合ハ選舉ニ關係ナキ者ノ入場トシテ町村制第二十一條ヲ適用スヘキモノニアラス(三一年第一四八號 三三三、六一五宣告 不當裁決取消ノ訴)【三六卷八七頁】

【同趣旨】町村制第二十一條ハ選舉ニ無關係ナル者ノ入場ヲ禁シタル規定ニシテ選舉人トシテ選舉會場ニ入り選舉終了後ニ選舉資格ナキコトヲ發見シタル場合ニ之ヲ適用セス(三二年第六〇號三三年、三三〇宣告 村會議員選舉取消ニ關スル縣參事會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴)【三五卷六二頁】

◎無資格者カ投票ヲ爲シタルノ一事ヲ以テ直ニ選舉全部ヲ無効トスヘキモノニアラス(三二年第六〇號三三、三、三〇宣告村會議員選舉取消ニ關スル縣參事會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴)【三五卷六三頁】

【反對】選舉人若クハ其代人タル資格ナキ者恣ニ選舉人ノ名義ヲ用非選舉會場ニ入り投票シタル選舉ハ町村制第二十九條第三項ニ依リ全部無効ナリ(二八年第一一二號二九、六、六宣告村會議員選舉不當決定ニ對スル訴)

【同趣旨】町會議員ノ選舉ハ匿名投票ナルヲ以テ無資格者カ投票ヲ爲シタルノ事實アルトキハ選舉全部ヲ無効トス(二五年第九三號二六、四、一四宣告町會議員選舉取消ノ訴)

◎他人ノ名義ヲ詐稱シテ選舉會場ニ入りタル者アルモ投票ヲ爲サルトキハ選舉ノ結果ニ影響ヲ及ホサス(三四年第二〇六號三五、四、一六宣告 市會議員選舉取消ノ訴)【五二卷七六頁】

◎選舉掛長ハ村役場ノ書記ヲシテ選舉會場ニ入り選舉事務ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得(三二年第五〇號三三、六、二七宣告 村會議員選舉取消ノ訴願ニ附與ヘラレタル裁決不服ノ訴)【三七卷六五頁】

【同趣旨】選舉掛ノ補助ヲ爲サシムル爲メニ村役場吏員ヲ選舉會場ニ列セシメタルハ違法ニ非ス(二五年

第一三九號二六、五、八宣告村會議員選舉取消請求ノ訴)

◎村會議員選舉會ニ於テ村役場吏員ヲシテ會場ノ取締ヲ爲サシメタルハ違法ニ非ス(二五年第九五號二六、

三、一一宣告違法選舉取消並ニ再選舉ヲ要ムル訴)

◎選舉事務ノ助手タル村役場ノ書記ニシテ選舉會場ニ入ルモ町村制第二十一條ニ違背スルモノニアラス(三五年第一八號三五、四、二五宣告村會議員選舉取消ノ訴)【五二卷一一一頁】

◎選舉掛長ハ必要ト認ムル場合ニ於テ選舉事務補助ノ爲メニ選舉掛ニアラサル者ヲ選舉會場ニ入ラシムルコトヲ得(三二年第九〇號三二、一、二七宣告 村會議員違法選舉取消ノ訴)【三三卷一三七頁】

◎選舉ヲ執行スヘキ町村ニ住居セサル者ノ名義ヲ以テ爲セシ投票アルトキハ選舉人ニアラサル者選舉會場ニ入りタル事實明白ナルカ故ニ其選舉ハ無効ナリ(二九年第二四號三九、一、一四宣告 町會議員選舉取消請求ノ訴)

◎町村制第二十一條ニハ單ニ選舉人トアリテ其級選舉人トアラサルカ故ニ各級選舉人ヲ總稱シタルモノト謂ハサル可カラス(二九年第五六號二九、一、一二宣告 村會議員

選挙ノ效力ニ關スル不當裁決取消請求ノ訴)

③無資格者カ選挙會場ニ入ルモ選挙掛長カ直ニ退場セシメタル證據アルトキハ町村制第二十一條ノ規定ニ違背シタリト云フヲ得ス(二九年第六一號 村會議員違法選挙取消ノ訴)

第二十二條 選挙ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選挙人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選挙人自ラ掛長ニ差

出ス可シ但選挙人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選挙人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選挙人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封

緘ノ儘投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス

封緘ニ關スル判例

④糊貼シタル投票ト雖トモ其紙質粗漏ニシテ被選人ノ何人ナルカヲ外部ヨリ容易ニ透見シ得ルトキハ町村制第二十二條ニ所謂封緘ヲ施シタルモノトイフヲ得ス從ツテ其投票ハ無効ナリ(三七年第九六八號 不當裁決取消請求ノ訴) (一七輯二卷九五頁)

⑤投票カ糊貼シアルモ投票記載ノ人名ヲ外部ヨリ洞見シ得ルトキハ選挙ノ秘密ヲ嚴守スヘキ町村制第二十二條ノ規定ニ背反セルモノトス(三四年第一八三四、一三、二四宣告 村會議員選挙效力ニ關スル訴) (五一卷一六四頁)

⑥投票ニ封緘ヲ爲サス或ハ代人ヲ以テ投票ヲ爲サシムル如キハ選挙人自ラ町村制第二十二條第二十四條ノ規定ニ背キ我投票ノ效力ヲ生セシメサルニ止マルモノナレハ他人ノ正當ニ施行シタル選挙ノ無効トナルヘキモノニアラス(三六年第六九號 三六、六一五宣告 村會議員選挙效力ニ關スル訴) (一四輯五卷五二九頁)

⑦投票ヲ封筒ニ入レサルモ糊貼シテ外部ヨリ見ルコト能ハサラシメタルトキハ之ヲ以テ封緘ナキ投票ナリト謂フヲ得ス(三五年第二八一號 三六、四一四宣告 村會議員選挙取消ニ關スル訴) (一四輯三卷二四二頁)

⑧封緘セサル投票ハ無効ナリ(三五年第一五九號 三五、一〇二七宣告 村會議員選挙效力ニ關スル訴) (五六卷七頁)

〔同〕(三五年第一六〇號三五、一〇、二七宣告村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔五六卷一頁〕

◎(三一年第一二七號三三、二〇、一九宣告村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔四四卷一〇頁〕

◎(三二年第九號三二、四、七宣告町會議員選舉效力ニ關スル裁決不服ノ訴)〔三〇卷七頁〕

◎投票ノ全部ニ封緘ナキトキハ其選舉ヲ取消スヘキモノトス (三五年第一五九號
村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔五六卷七頁〕
〔同〕(三五年第一六一號三五、一〇、二七宣告村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔五六卷一五頁〕

◎(三五年第一六〇號三五、一〇、二七宣告村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔五六卷一頁〕

〔同趣旨〕封緘ヲ施サ、投票ヲ以テ執行シタル選舉ハ無効ナリ (三二年第五號三二、六、三〇宣告縣參
事會裁決取消ノ訴)〔三一卷一五頁〕

〔同〕(三二年第六號三二、六、三〇宣告縣參事會裁決取消ノ訴)〔三一卷二二頁〕

◎(三二年第四六號三二、七、三宣告縣參事會不當裁決取消ノ訴)〔三一卷三五頁〕

◎(三二年第三七號三二、九、一八宣告不當裁決取消ノ訴)〔三一卷六六頁〕

◎投票中ニ封緘ナキモノアリタル時ハ其選舉ハ違法ナリ (三二年第一四九號 裁決
不當ノ訴)〔三〇卷七八頁〕

◎投票ヲ糊貼シタル以上ハ文字ヲ記載セサルモ封緘ノ效ヲ有ス (三二年第三二號
宣告村會議員定期半數改選二級選舉取消ノ訴)〔三〇卷九二頁〕

◎投票用紙ヲ折合セタルノミニテハ封緘ヲ爲シタルモノニアラス (三二年第九號
宣告村會議員選舉效力ニ關スル裁決不服ノ訴)〔三〇卷七頁〕

〔同趣旨〕投票ヲ折疊ミタルノミニテハ封緘ヲ施シタルモノニアラス (三一年一〇九號三二、一、二五宣
告村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔二九卷一七頁〕

◎投票ノ封緘ハ封筒ヲ用ヒ若クハ糊貼ニスル等容易ニ開披スルコトヲ得サ
ル方法ニ依ルコトヲ要ス (三一年一〇九號 三二、一、二五宣告 村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔二
九卷一七頁〕

第一項

◎選舉會場外ニ於テ投票ノ記入ヲ爲シタルハ違法ニアラス (三二年第一八七號 違
法村會議員選舉取消ノ訴)〔三五卷五七頁〕

◎村會議員選舉ノ投票用紙ニ普通ノ半紙ヲ用ヒタルハ違法ニアラス (三二年第
一八七號

三三、三、違法村會議員選舉取消ノ訴(三三五卷五七頁)

④ 選舉人ハ各一個ノ投票ヲ差出スヘキモノトス(三二年第八六號) 村會議員選舉效力ノ訴(三三三卷九〇頁)

⑤ 投票ニ必ラスシモ被選人ノ姓名ヲ併記スルコトヲ要セス(三一年第一三〇號) 村會議員選舉投票ノ效力ニ關スル訴(三三〇卷一頁)

⑥ 成規ノ用紙ヲ用ヒサル投票アルトキハ其投票ヲ無効トスヘク選舉全部ヲ無効トスヘキモノニアラス(三二年第一九四號) 縣會議員選舉取消ノ訴(三四卷三四頁)

⑦ 數葉ノ代書投票カ同一筆蹟ニ成リタリトノ事實ハ選舉人カ互ニ協議ヲ爲シタルモノナリトノ事實ヲ推定スルニ足ラス(二九年第三八號) 村會議員選舉ニ關スル不當裁決取消請求ノ訴

⑧ 町村制中代書投票ニ關スル規定ナキヲ以テ選舉錄ニ何等記載ナキ代書投票ト雖トモ之ヲ無効トスルヲ得ス(二九年第三八號) 村會議員選舉ニ關スル不當

裁決取消請求ノ訴

① 投票用紙ノ式ヲ一定シタル場合ニ在テハ選舉人カ之ヲ誤用シタルノ證據ナクシテ其様式ニ從ヒ投票シタルモノト推定ス故ニ定期改選ノ用紙ニ其定數ノ被選人ヲ記載シアルニ於テハ函ノ孰レタルヲ問ハズ定期改選ノ投票ナリト認メサル可カラス(二八年第一二四號) 村會議員選舉投票ノ效力ニ關スル裁決不服ノ訴

② 投票代書ハ其誤謬ナキヲ知ラシムル爲メ之ヲ依頼者ニ讀聞カスモ違法ノ行爲ト謂フヲ得ス(二八年第一一八號) 市會議員選舉無効ノ訴

③ 選舉掛助手カ選舉ノ自由ヲ妨ケサル範圍内ニ於テ選舉人ノ指名ニ從ヒ投票ノ代書ヲ爲シタルハ違法ニ非ス(二五年第一三九號) 村會議員選舉取消請求ノ訴

④ 一定ノ投票用紙ヲ製シ選舉人ノ望ニ任セ其使用ニ供シタルハ違法ニアラス(二五年第一三九號) 村會議員選舉取消請求ノ訴

⑤ 町會議員選舉ニ際シ選舉掛長カ記憶ノ爲メ選舉人名簿ニ標點ヲ施コシテ

投票ヲ受理スルハ町村制ノ命スル所ニ非サルヲ以テ其標點ナキ投票ト雖モ之ヲ無効ト爲スヲ得ス(三五年第五六號 村會議員選舉會取消ノ訴)

◎選舉終了後投票者自ラ代人ヲ以テ投票シタリトノ陳述ハ法律上何等ノ效力ヲモ生スルモノニ非ス(二四年第四三號 村會議員選舉取消不服ノ訴)

第一一項

◎町村會議員ノ選舉掛長ハ町村制第二十二條第二項ノ規定ニ依リテ使用スヘキ選舉人名簿ハ其選舉ノ本會ニ於ケルモノト分會ニ於ケルモノトニ論ナク總テ同法第十八條ノ手續ヲ經タルモノナラサルヘカラス(三八年第六〇號 三九、六、二〇號 告六ヶ村會議員選舉效力ニ關スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴)〔一七輯五卷三六八頁〕

◎掛長ヲシテ投票ヲ投函セシムルノ規定町村制第二十二條第二項ハ選舉ヲ公平且確實ナラシムルノ趣旨ニ出ツルモノトス從テ掛長カ他人ヲシテ投函セシメタル投票ハ無効ナリ(三五年第三八號 三五、五、一四號 告 福島縣參事會裁決取消ノ訴)〔

五三卷四六頁〕

◎選舉人カ其投票ヲ選舉掛長ニ差出サスシテ自ラ投函シタルハ町村制第二十二條ノ規定ニ違背スル行爲ナレハ其投票モ亦無効ナリ(三四年第一六〇號 村會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴)〔五一卷四六頁〕

〔同趣旨〕選舉人カ其投票ヲ選舉掛長ニ差出サスシテ自ラ投票函ニ投入シタルハ町村制第二十二條ニ背反スル行爲ナレハ其投票モ亦無効ナリトス(三四年第五一九號三四、一二、一八號 告 不當處分取消請求ノ訴)〔五〇卷一三五頁〕

◎町村制第二十二條第二項ニ投票ヲ終ル迄トアルハ豫告ノ投票時間ノ終了ヲ指スモノニアラスシテ事實上投票ノ終了ヲ告クルコトノ意義ナリ(三二年第六九號 三二、一〇、二七號 告 村會議員選舉效力ニ關スル訴)〔三二卷二三頁〕

◎町村制第二十二條第二項ノ規定ハ投票函ハ投票中相當ノ方法ヲ以テ之ヲ封鎖スヘキ意義ニシテ必スシモ鎖鑰ヲ用フルコトヲ要ストノ法意ニアラス(三二年第五九號 三二、六、二三號 告 村會議員選舉取消ノ訴)〔三〇卷一一五頁〕

⑤ 投票ハ投票函ニ投入スヘク投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得サルモノナレハ開函後ニ爲シタル投票ヲ混同シテ當選ヲ定メタルハ違法ナリ
(三一年第三二號 郡會議員選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴)

⑥ 蓋ヲ開クニ非ラサレハ投入ノ途ナキ投票函ヲ用キタル選舉ハ町村制第二十二條第二項ニ違背シタル不法アリ
(二九年第六二號 村會議員違法選舉取消ノ訴)

〔同趣旨〕蓋ヲ開クニ非サレハ投入ノ途ナキ投票函ヲ用ヒタル選舉會ハ違法ナリ
(二九年第五六號二九、一一、二宣告村會議員選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消請求ノ訴)

⑦ 定期改選ト増員選舉トヲ同時ニ執行スル場合ニ於テハ各々其投票ヲ區別スヘキモノトス
(二八年第一二三號 町村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴)

⑧ 町村制第二十二條第二項ハ投票ノ差出及受理ニ關スル順序手續ヲ規定シタルニ止リ選舉掛長ニ投票拒絕ノ特權ヲ與ヘタルモノニ非サルカ故ニ其投票ヲ拒絕スルニハ必ス選舉係リノ假議決ヲ要スヘキモノトス
(二八年第七一七號)

二八、一、不當裁決取消ノ訴

第二十三條 投票ニ記載ノ人員其選舉ス可キ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其投票ヲ無効トセス其定數ニ

過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シ

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
- 二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 三 被選舉權ナキ人名ヲ記載スルモノ
- 四 被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ

投票ノ受理並ニ效力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

⑨ 町村制第二十三條第一項ハ投票面ノ記載ニ於テハ選舉スヘキ人員ノ定數ヲ誤リ過不足アル場合ヲ謂フモノニシテ投票ノ行列ニ不同アリ或ハ全ク別個ノ記名タル疑ヲ免レサル場合ヲ謂フモノニアラス
(二八年第八九號 村會議員選舉投票ノ效力ニ關スル件)

⑩ 一封中ニ在ル二個ノ投票ハ其ニ之ヲ無効トス
(三四年第二三三號 村會議員選舉)

取消ノ訴〔五一卷一一〇頁〕

〔同趣旨〕一封中ニ二個ノ投票アルニ於テハ二票共ニ無効ナリ故ニ是等ノ投票ハ被選舉人各自ノ得票中ヨ

リ除去シ殘ル正當ノ投票ヲ以テ投票數ヲ定ムヘキモノトス（三四年第四三號二五、六、二三宣言村會議

員選舉取消不服ノ訴）

◎過剩投票アル場合ニ於テ選舉掛カ豫メ過剩投票ヲ取除キタル上當選者ヲ定メタルハ不當ナリ（三四年第一五四號三五、三、二四宣言 不當裁決取消請求ノ訴〔五二卷一一頁〕

◎過剩投票カ他ノ投票ト共ニ投票函内ニ在リテ其孰レカ過剩投票ナルヤヲ判別シ難キ場合ニ於テハ選舉掛ハ先ツ之ヲ開絨シテ調査ヲ遂ケタル上其效力ヲ決定スヘキモノトス（三四年第一五四號三五、三、二四宣言 不當裁決取消請求ノ訴〔五二卷一一頁〕

◎他人ノ名義ヲ詐稱シテ爲シタル投票ハ無効ナリト雖モ當選者ノ得票中ヨリ該投票ヲ控除スルモ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ選舉全体ヲ無効トスヘキモノニアラス（三四年第二〇六號三五、四、一六宣言 市會議員選舉取消ノ訴〔五二卷七

六頁〕

第一號

◎投票ニ記載シタル字体ノ不明ニシテ何人ヲ指シタルモノナルヤヲ知ルニ由ナキモノハ無効ナリ（三三年第六號三三、六、一八宣言 裁決取消ノ訴〔三六卷九四頁〕

◎村會議員選舉投票ニ被選舉人ノ異名ヲ記載スルモ其何人ニ投票セシカヲ確認シ得ヘキモノハ有效ノ投票トス（二八年第三四號二八、一、一四宣言 村會議員選舉效力ニ關スル裁決取消ノ訴）

第一號

◎同一村内ニ同氏名ノ者二人アル場合ニ於テ村會議員補缺選舉ニ際シ投票ニ單ニ氏名ノミヲ記載スルモ其一人ハ現ニ村會議員在職中タル以上ハ該投票ハ他ノ一人ヲ指示シタルモノトス（三五年第二九號三五、六、二四宣言 村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴〔五四卷一頁〕

◎一村内ニ被選資格ヲ有スル同姓名ノ者二人アル場合ニ於テ單ニ其姓名ノ

ミヲ記載シ其兩人中何レノ得票ナルヤヲ認メ得ヘキ著明ナル特徴ナキ投票ハ町村制第二十三條第二項第二號ニ所謂被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノトス(三十四年第一七二號 三五、三、一〇宣告) 村會議員選舉效力裁決取消ノ訴(五一卷一〇五頁)

◎赤祖父午知「赤祖父手知」「赤祖父午知」「赤祖父半知」ト記シタル投票ハ赤祖父牛知ノ得票ト認ムルコトヲ得(三三年第二三號 三三、四、九宣告) 縣會議員選舉效力ニ關スル決定不服ノ訴(三五卷八九頁)

【同趣旨】小林半人ヲ小林ハヤ人ト記シタル投票ハ被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノニアラス(三二年第一一五號 三二、一、二宣告 不當裁決取消ノ訴) (三二卷三六頁)

◎投票ノ記載不完全ナルモノアルモ何人ヲ指シタルヤヲ確認シ得ルニ於テハ之ヲ有効トス(三二年第一九四號 三三、二、一四宣告) 縣會議員選舉取消ノ訴(三四卷三四頁)

◎投票ニ被選舉人ノ氏又ハ名ノ一方ノミヲ記載スルモ其何人タルヲ確認シ得ルニ於テハ無効ニアラス(三二年第一三〇號 三二、四、七宣告) 村會議員選舉投票ノ效力ニ關スル

訴(三〇卷一頁)

◎被選舉權ナキ人名ヲ記載シタル投票ト雖トモ被選舉權ヲ有スル者ノ中ニ就キ其投票指名スル選舉人タル者ヲ確認シ得ヘキ者ハ有効トス(二九年第一二二九、六、一〇宣告) 村會議員當選權回復ノ訴

◎疑似ノ投票モ其何人ヲ選舉シタルカヲ確認シ得ヘキモノハ有效タリ(二八年第一〇三號 二九、二、二二宣告) 村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴

◎投票記載ノ氏名ニ誤脱誤字等アルモ選舉當時ノ事實ニ徴シテ其何人ヲ指シタルヤヲ推知シ得ル投票ハ有效ナリ(二八年第五〇號 二八、一、一八宣告) 不法裁決取消ノ訴

第四號

◎村會議員選舉ノ投票ニシテ用紙ノ欄外ニ「ウ」ノ字ヲ記載シタルモノハ町村制第二十三條ノ所謂被選舉人名ノ外他事ヲ記入シタルモノニシテ無効也(三八年第三四八號 三九、九、二六宣告) 村會議員當選ニ關スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴(二七輯七卷四九〇頁)

〔同趣旨〕投票ノ裏面ニ或符合ヲ記載シタルハ他事記入ノ投票ナリ(三三年第二一五號三四、五、二三宜
告不當裁決取消ノ訴)【四五卷一頁】

◎投票ノ裏面ニ一定ノ意味アル附牒ト認ムヘキ文字附記アルハ町村制第二十三條第二項第四ノ規定ニ違背
シタル無効ノ投票ナリ(二七年第七號二七、六、六宣言村會議員選舉投票無効ノ訴)

◎カロイ等ノ文字ヲ記入シタル投票ハ町村制第二十三條第二項第四ニ所謂他事ノ記入アルモノニシテ無効
ナリ但其記入ノ文字ガ投票用紙ノ表面ニ在ルト裏面ニ在ルトヲ問ハズ(二五年第七三號二六、五、八宣
告村會議員選舉無効投票取消ノ訴)

◎町村制第二十三條第二項ノ四ハ選舉ニ有害ナル事項若クハ雜事等ヲ投票
ニ記入スルコトヲ禁止セルモノトス從テ單ニ被選舉人ノ住所ヲ明ニスル
爲メ其番地ヲ記入シタル投票ノ如キハ之ヲ無効ト爲スヘキモノニアラス
(三八年第一二五號
三九、六、一一宣言 不當裁決取消ノ訴)【一七輯五卷三三五頁】

〔同趣旨〕町村制第二十三條第四號ニ所謂他事記入トハ選舉ニ有害ナル事項若クハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ
記入シタルモノヲ云フ(三三年第七八號三三、二、一四宣言村會議員選舉效力ニ關スル訴)【三四卷二二頁】

◎町村制第二十三條第二項第四ニ所謂他事ヲ記入スルトハ投票中選舉ニ害アル事若クハ選舉ニ必要ナキ雜

事ノ記入ヲ云フ(二五年第一二二號二六、五、六宣言村會議員一級選舉投票ノ效力ニ關スル訴)

◎町村制第二十三條第二項第四ニ所謂他事ヲ記入スルトハ選舉ニ必要ナキ雜事若クハ選舉ニ害アル事ヲ記
入スルヲ云フ故ニ投票ノ性質ヲ明確ナラシムル記入ノ如キハ此ニ包含セス(二六年第八號二六、六、六
宣言村會議員補缺選舉ノ效力ニ關スル郡長ノ處分取消ノ訴)

◎被選舉人ノ氏名ノ上ニ村會議員ノ文字ヲ記載シタル議員選舉ノ投票ハ有
效ナリ(三八年第二二五號
三九、四、一八宣言 村會議員當選ノ效力ニ關スル訴)【一七輯三卷一八七
頁】

〔同趣旨〕町會議員補缺選舉ニ際シ其投票被選人氏名ノ上ニ補缺員ナル文字ヲ記スルモ之ヲ以テ他事ヲ記
入スルモノト云フヲ得ス(三四年第二二二號三四、一一、二三宣言町會議員當選效力ニ關スル訴)【五〇
卷一五九頁】

◎投票ニ殿ノ字、何村會議員候補者ノ文字及「メ」ノ字ヲ記入シ若シクハ甲ト記シタル文字ヲ塗抹シテ乙ト
記シタルハ他事記入ノ投票ト謂フヲ得ス(三二年第七八號三三、二、一四宣言村會議員選舉效力ニ關ス
ル訴)【三四卷二二頁】

◎村會議員選舉ニ於テ村會議員投票明治年月日ト印刷セル用紙ヲ以テ爲シ

タル投票ハ町村制第二十三條第二項第四ニ該當セス(二五年第一二一號村會議員
二六、五、六宣告)村會議員
一級選舉投票ノ效力ニ關スル訴)

第一一項

◎町村制第二十三條末項ハ投票其モノ、受理及效力ニ關スル事項ニ付キ假
議決ヲ爲スヘシトノ規定ニシテ選舉事務ノ補助竝ニ選舉會場ノ必要ナル
雜務處理ノ爲メ臨時選舉人以外ノ者ヲ入場セシムルカ如キ場合ニ適用ス
ヘキモノニアラス(三六年第五二二號
三七、四、一一宣告)村會議員選舉ニ關スル訴(一五輯三卷二
二八頁)

【同】(三六年第五二三號三七、四、一一宣告村會議員選舉ニ關スル訴)【一五輯三卷二二三頁】

◎選舉掛ニ於テ縱令不正ノ投票ト認ムルモ之ヲ開緘シテ調査ヲ遂ケ然ル後
其效力ヲ假決スヘキハ町村制第二十三條ノ法意ナリ(三四年第一四五號村會議員
三三、三、七宣告)
選舉取消處分ニ關スル訴(五一卷九〇頁)

◎選舉掛ト選舉掛長トヲ併セ偶數ノ人員ヲ以テ選舉ヲ繼續スルモ町村制第

二十三條ニ定メタル投票ノ受理竝ニ效力ニ關スル假議決ヲ爲シタル事實
ナキ以上ハ其選舉ハ適法ナリ(三四年第六一號
三三、六、二九宣告)不當裁決取消要求ノ訴(四七
卷一〇〇頁)

◎投票ノ效力ニ關スル選舉掛ノ議決ニ對シ異議ノ申立アル時ハ其當否ヲ裁
決スルハ上級行政廳ノ職權ナリ(三二年第一九七號
三三、七、五宣告)村會議員當選效力ニ關スル不
當裁決取消請求ノ訴(三八卷一二頁)

◎代人投票ノ場合ニ於テ委任狀ノ眞否ニ關シ疑義ヲ生シタルトキ選舉掛長
之ヲ專決シ選舉掛ニ議決セシメサリシハ町村制第二十三條第三項ノ規定
ニ違背シタルモノトス(二六年第六〇號
二六、一〇、九宣告)村會議員選舉取消請求ノ訴

第二十條條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコトヲ許サス

第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得若シ其獨立ノ男子ニ非

サル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ズ代人ヲ以テス可シ其人ハ内國人ニシテ公權ヲ有スル獨

立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得且代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シテ代理ノ

證トス可シ

⑤町村制第二十四條第二項ハ普通代人カ投票ヲ爲ス場合ニ於ケル規定ニシテ法定代理人ノ投票ヲ爲ス場合ニ適用スヘキモノニアラス(三四年第二三三號三五年三一〇號)村會議員選舉取消ノ訴(五一卷一一〇頁)

⑥甲者カ自カラ選舉會場ニ入り乙者カ其投票ノ取次ヲ爲シタルノ一事ヲ以テ代人投票ヲ爲シタルモノト謂フヲ得ス(三二年第五九號三二年第六二二號)村會議員選舉取消ノ訴(二三〇卷一一五頁)

第二十五條 町村ノ區域廣潤ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ町村會ノ議決ニ依リ區畫ヲ定メテ選舉

分會ヲ設クルコトヲ得但特ニ二級選舉人ノミ此分會ヲ設クルモ妨ケナシ

分會ノ選舉掛ハ町村長ノ選任シタル代理者ヲ以テ其長トシ第二十條ノ例ニ依リ掛員二名若クハ四名ヲ選任ス

選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集テ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

選舉分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開ク可シ其他選舉ノ手續等總テ本會ノ例ニ依ル

⑦町村長カ町村會議員選舉ノ前日ニ至リ特ニ選舉人名簿ヲ調製シ之ヲ分會

場ノ選舉ニ使用シタルトキハ該選舉ハ町村制第二十九條末項ノ所謂選舉ノ定規ニ違背セルモノトス(三八年第六〇號三九年六二〇號)六ヶ所村會議員選舉效力ニ關スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴(一七輯五卷三六八頁)

⑧町村制第三百三十一條ハ町村制施行ノ際當該吏員ヲシテ町村會ノ職務ヲ行ハシムヘキ趣意ナルカ故ニ別段ノ制限ナキ以上ハ凡ソ町村會ノ職務ニ屬スルモノハ一時ノ爲メニスルト將タ永續ノ爲メニスルトヲ問ハス總テ當該吏員ノ權能ニ屬スヘキモノトス從ツテ該吏員カ同制第二十五條第一項ニ依リ永續的ノ旨趣ヲ以テ選舉分會ヲ設置シタルハ違法ニアラス(三八年第二一〇號)町會議員ノ選舉效力ニ關スル不服ノ訴(一七輯二卷一五三頁)

⑨町村制第二十五條末項ノ規定ハ本會ト同日時ニ選舉會ヲ開クヘキコトヲ命シタルモノニシテ其閉會ヲモ同日時ニ爲スヘシトノ意義ニアラス(三〇年第一二二號)村會議員二級選舉ニ關スル訴(二二卷六三頁)

第二十六條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取

リ同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ(第十七條)投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘任期ノ最長キ前任者ノ補
闕ト爲シ其數相同キトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム

第二十七條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其
他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選舉錄ニ附屬シ選舉ヲ了スルニ至ル迄之ヲ保存ス可シ

⑤ 選舉ハ適法ニ投票ヲ終ヘ當選人定マリタル時ニ終了ス故ニ爾後選舉錄ノ
調製カ方式ニ違フモ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスヘキモノニ非ス(三六年第八八
三七、一、三一宣言 村會議員選舉效力ノ訴)

〔同趣旨〕 選舉錄ニ不備ノ點アルモ適法ニ執行シタル選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスコトナシ(三四年第六一
號三四、六、二九宣言不當裁決取消要求ノ訴)〔四七卷一〇〇頁〕

⑥ 選舉掛ハ他人ヲシテ選舉錄ノ調製ヲ補助セシムルコトヲ得(三二年第九〇號
村會議員違法選舉取消ノ訴)〔三三卷一三七頁〕

⑦ 町村制中定期改選ト補欠選舉トハ其選舉錄ヲ各別ニ調製セサル可カラサ

ル規定ナシ(二九年第五四號 村會議員選舉會取消ノ訴)

⑧ 町村制中代人投票ノ委任狀ヲ選舉關係書類トシテ保存スヘキノ規定ナシ
(二八年第五三號 村會議員選舉取消ノ訴)

⑨ 町村制中選舉錄ニ代人投票ノ記載ヲ命スル規定ナキヲ以テ之ヲ記載セサ
ルモ違法ニ非ス(二八年第五三號 村會議員選舉取消ノ訴)

第二十八條 選舉ヲ終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントス
ル者ハ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當リタルトキハ同期間内何レノ選舉ニ應ス可キコトヲ申立ツ可シ其期限内
ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其選舉ヲ辭スル者トナシ第八條ノ規定ヲ爲ス可シ

⑩ 投票ヲ終リテ當選者決定セサル場合ニ於テ決定後直ニ當選ノ告知ヲ爲シ
タルトキハ町村制第二十八條ノ規定ニ違背セス(二五年第五六號 村會議員選
舉會取消ノ訴)

第二十九條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴訟セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ

由立ヅルコトヲ得(第三十七條第一項)

町村長ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ既願ノ有
無ニ拘ラズ郡委員會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得
選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人中其資格ノ要件ヲ有セサル者アル
トキハ其人ノ當選ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシム可シ

第一項

④選舉效力ニ關スル訴訟ニ對シ行政裁判所ノ確定判決アリタル以上ハ同一
ノ選舉ニ對シ他ノ原告ヨリ出訴シタル同一ノ請求ハ之ヲ採用セス(三二年第
三三三三、三、縣會議員當選無効ノ異議申立ニ關スル決定不服ノ訴)(三四卷七〇
七頁)

⑤村會議員選舉ニ關スル訴ニ於テ關係ノ行政廳ヲ對手トセス箇人ヲ相手取
リタルハ不當ナリ(三一年第一二四號 不當裁決取消ノ訴)

⑥無資格者ノ投票アリタリト稱シ其選舉ヲ違法ナリト主張スルハ選舉ノ效
力ニ關スル事件ナリ(三一年第五〇號 不法選舉取消請求ノ訴ニ對スル妨訴抗
辨)

〔同趣旨〕無資格者カ參與シタル選舉ヲ違法ナリト主張スルハ選舉效力ニ關スル事件ニ外ナラス(三一年
第三二號三一、一〇、一〇宣告村會一級議員選舉ノ效力ニ關スル訴)

⑦村會議員ノ選舉ヲ無効ナリト主張スル訴ニ於テ選舉執行者タル村長ハ被
告ト爲ルノ責務アリ(二六年第三三號 村會議員二級選舉取消事件ニ付山形縣參
事會裁決不服ノ訴ニ對スル妨訴抗辨)

⑧町村制上納稅額ニ據リ選舉人ノ等級ヲ設ケタルハ町村稅負擔ノ多少ト選
舉權トヲ伴ハシメタルニ過キサレハ選舉人ハ己ノ屬セサル級ノ選舉ニ關
シテモ亦訴願訴訟ヲ爲スコトヲ得(二五年第七三號 村會議員選舉無効投票取
消事件ノ中間判決)

⑨選舉效力ニ關スル訴願訴訟ハ原簿及名簿ニ登載ナキ者之ヲ提起スルヲ得
スト雖モ選舉掛若クハ投票權ヲ拋棄シタル者ハ之ヲ爲スコトヲ得(二六年第
九〇號)

二六、二、村會議員半数改選選舉會取消ノ訴

◎ 總代タリシ資格ノ有無ニ拘ラス訴願ヲ經タル選舉人ハ其資格ヲ以テ村會議員選舉ノ效力ヲ争フコトヲ得(二三年第三〇號 二四年三、三一宣告) 村會議員選舉會取消請求ノ訴ニ對スル妨訴抗辨)

【同】(二三年第三〇號二四、三、三一宣告村會議員選舉會取消請求ノ訴ニ對スル妨訴抗辨)

◎ 村會議員ノ選舉掛長ハ其選舉ニ起因スル訴ニ於テ對手人タルノ責務アリ(二四年第四三號 二四年二、二六宣告) 村會議員選舉取消ニ關スル訴ニ對スル妨訴抗辨)

◎ 町會議員選舉ノ效力ニ起因スル争論ニ於テ單ニ訴願權有無ノ確定ヲ請求スル事件ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(二五年第七二號 二五年二、二三宣告) 町會議員選舉效力ニ關シ縣參事會裁決ニ對スル訴)

第一項

◎ 町村制第二十九條第二項ハ郡長ニ於テ選舉ノ報告ヲ受ケ其效力ニ關シ異議アルトキハ之カ處分ヲ行フヘキコトヲ規定シタルモノニシテ郡參事會

ハ郡長ノ異議ニ對シ其當否ヲ裁決スルニ止マルヘキモノトス(三一年第六九號 二一年一、二二宣告) 不當裁決取消ノ訴(二八卷一四頁)

◎ 郡長ハ町村長ノ報告前ニ於テ緊急ノ場合ニハ選舉ノ效力ニ關スル處分ヲ行フコトヲ得(三一年第六九號 三一年一、二二宣告) 不當裁決取消ノ訴(二八卷一四頁)

◎ 町村制中選舉ノ效力ニ關スル縣參事會ノ裁決ニ對シ郡參事會ニ行政訴權ヲ與ヘタル明文ナシ(三一年第一〇七號 二四年二、二四裁決) 不當裁決取消ノ訴

◎ 町村會議員ノ選舉ニ先チ町村ノ行政事務視察ノ爲メニ派遣シタル郡書記ノ復命書ニ基キ郡長カ選舉ノ效力ニ關スル處分ヲ行ヒタルハ違法ニアラス(三一年第六九號 三一年二、二二宣告) 不當處分取消ノ訴(二八卷一四頁)

◎ 縣參事會ニ於テ村會議員選舉取消ノ處分ヲ爲シタル郡參事會ノ議決ヲ不法越權ノ原因アリト裁決シタルトキハ該議決ハ消滅スヘキヲ以テ郡長カ再ヒ取消命令ヲ發セントスルトキハ更メテ郡參事會ノ議ニ付シ之レカ處分ヲ爲サルヘカラス(二九年第二八號 二九年六、二七宣告) 村會議員選舉取消處分ノ訴

◎ 縣知事カ村會議員ノ選舉ヲ無効ナリトシ取消ノ處分ヲ爲シタルハ違法ナルモ其處分ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(二六年第五七號 二六、六、一五裁決) 違法處分取消ノ訴

第三項

◎ 町會議員ノ選舉權ナキ者カ投票ヲ爲シタル場合ニ之ヲ控除スルモ次點者ヲシテ其地位ヲ失ハシムルニ止マリ當選者ノ得票數ニ何等ノ影響ヲ及ボサ、ルトキハ其選舉ヲ取消スヘキモノニアラス(三八年第三七八號 四〇、三、二七宣告) 町會議員選舉訴願裁決ニ對スル訴(一八輯二卷一二五頁)

◎ 町村會議員ノ選舉效力ニ關スル裁決ハ訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外之ヲ取消シ得ヘキ規定ナケレハ町會カ訴願ニヨラスシテ郡長ノ命ニ基キ其裁決ヲ取消シタルハ違法ナリ(三八年第二一〇號 三九、四、二五宣告) 町會議員選舉ノ效力ニ關スル不服ノ訴(一七輯二卷一五二頁)

◎ 町村制第二十九條ニ所謂選舉ノ取消ハ選舉全体ノ取消ヲ指稱セルモノトス從テ無資格者ノ投票ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ於テ其選舉全体ヲ取消シタルハ相當ナリ(三七年第一二〇六號 三八、九、二〇宣告) 村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴(一六輯八卷六六四頁)

◎ 訴願ノ主タル目的選舉若クハ當選ノ效力ニ關スルモノナルトキハ訴願期限ヲ經過シタリヤ否ヤノ爭ノ如キハ前裁決ヲ打破スル爲メニ主張スルニノ理由ト認ムルヲ相當トス(三五年第二九九號 三六、二、二〇宣告) 不當裁決取消ノ訴(一四輯一卷六二頁)

◎ 町村制第二十九條第三項ノ規定ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニノミ適用スヘキモノトス(三五年第一八號 三五、四、二五宣告) 村會議員選舉取消ノ訴(五二卷一一一頁)

〔同趣旨〕 當選者ノ得票中ヨリ無効投票ヲ控除スルモ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉全體ヲ無効トスヘキモノニアラス(三四年第五一九號三四、一二、一八宣告) 不當處分取消請求ノ訴(五〇卷一三五頁)

◎ 無効投票ヲ控除スルモ當選者ニ異動ヲ生セサルトキハ選舉全體ヲ無効トスヘキモノニアラス(三四年第

二一六號三五、三、七宣言村會議員選舉取消ノ訴【五一卷九四頁】

◎選舉権ナキモノカ投票ヲ爲シタル事實アルモ爲メニ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉ハ有效ナリ
【三二年第一〇二號三三、七、一〇宣言】【三九卷一五頁】

◎無効ノ投票アリタル場合ニ於テ之ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除スルモ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉ハ無効ニアラス【三一年第一四八號三三、六、一五宣言不當裁決取消ノ訴】【三六卷八七頁】

◎無効投票アリタルトキハ當選者ノ得票中ヨリ之ヲ控除シ結果ニ異動ナクンハ其選舉ハ取消ス可キニアラス【二六年第二八號二六、七、一〇宣言村會議員選舉取消ノ訴】

◎町村制第二十九條第三項ノ規定ハ選舉ノ全體ニ影響スル瑕疵アル場合ニ適用スヘキモノトス【三一年第一四八號三三、六、一五宣言 不當裁決取消ノ訴】【三六卷八八頁】

◎同一人カ二級三級ノ兩級名簿ニ記載シアリテ兩級ニ投票シタル事實アリトスルモ其内何レカ一票ヲ無効トスレハ足り爲メニ選舉人名簿若クハ選舉全體ヲ無効トスヘキモノニアラス【三四年第二〇六號三五、四、一六宣言 市會議員選舉取消ノ訴】
【五二卷七六頁】

◎選舉人ノ階級ヲ誤リタル選舉人名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ無効ナリ

【三二年第二七號三三、二、二八宣言 村會議員選舉取消不服ノ訴】【三四卷五一頁】

◎無効ノ投票アリタルカ爲メニ選舉全體ヲ無効ト爲スコトナシ【三一年第八一號九宣 不當處分取消ノ訴】【二八卷五五頁】

◎當選者ヨリ非當選者ノ得票中ニ無効投票アリト主張スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許ス法令ナシ【三三年第一九〇號三三、一、二六宣言 郡會議員選舉效力ニ關スル訴】【四二卷八〇頁】

◎選舉ノ效力ニ關スル訴願ヲ裁決スルニ付キ甲者ノ得點ハ選舉錄ノ得點ニ依リ乙者ノ得點ハ再調査ノ得點ニ依リテ之ヲ定メタルハ違法ナリ【三二年第一〇宣言 不當裁決取消請求ノ訴】【三六卷二七頁】

◎町村會議員ノ選舉效力ニ關スル訴願ニハ訴願法第二條第一項竝ニ町村制第二百十條ニ定メタル訴願ノ手續ヲ適用セス【三二年第九二號三三、一、二四宣言 不當裁決取消ノ訴】【三二卷四頁】

◎二級選舉人ニ無資格者アリテ之ヲ除去スルモ一級選舉ニ異動ヲ生セサル

トキハ二級選舉ハ取消スヘキモノニアラス(三二年第九〇號 三二、二二、二七宣告) 村會議員違法選舉取消ノ訴(三三三卷一三八頁)

◎選舉會場ニ出席シテ選舉ニ關與シタル選舉人ノ總數ト投票總數ト符合セシテ過剩投票アリタル場合ニ於テハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルト否トニ拘ハラス其選舉ハ違法ナリ(三二年第八六號 三二、二二、二二宣告) 村會議員選舉效力ノ訴(三三三卷九一頁)

〔反對〕投票ヲ爲シタル選舉人ノ員數ト符合セサル過剩投票アルトキハ其票數ヲ當選者ノ得票數ヨリ控除

スルモ結果ニ異動ナクンハ其選舉ハ取消スヘキモノニ非ス(二六年第八號二六、六、六宣告) 村會議員補缺選舉ノ效力ニ關スル郡長ノ處分取消ノ訴

◎選舉掛ニ於テ投票中選舉人ノ氏名ヲ記シタルモノヲ有效ト假決シテ選舉ヲ執行シタルハ選舉ノ定規ニ違背セス(三一年第八一號 三二、二二、二七宣告) 不當處分取消ノ訴(二八卷五六頁)

◎村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴ハ地方上級行政廳ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ提起スルヲ得ス(三二年第一二一號 三二、二八裁決) 不當裁決及村會議員二級選舉全部取消ノ訴

◎選舉掛長カ定規ニ違背シ選舉會場ニ於テ選舉人ノ入場ヲ拒絕シ選舉權ノ行使ヲ阻碍シタル事實アル選舉ハ無効ナリ(三一年第九七號 三二、二二、二四宣告) 村會議員選舉取消ノ訴

◎選舉掛長及選舉掛等共謀シテ投票函在中ノ投票ヲ差替ヘタル事實アル選舉ハ無効ナリ(三〇年第九七號 三一、四、二九宣告) 選舉取消請求ノ訴

◎選舉人中ニ二重ノ投票ヲ爲シタル者アルトキハ其選舉ハ無効ナリ(三〇年第九七號 三一、四、二九宣告) 村會議員選舉取消ノ訴

◎村會議員選舉ノ效力ニ關シ其選舉全部ノ取消ヲ村會ニ訴願シタル場合ニ在リテハ同一事件ニ對スル縣參事會ノ裁決ハ其一部ニ止マルトキト雖モ行政訴訟ニ於テ全部無効ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス(二九年第三六號 二九、一、二四宣告) 村會議員一級選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴

◎町村制第二十九條第二項ニ據リ郡長カ郡參事會ノ裁決ニ付シテ爲シタル處分ニ對スル不服ハ町村制第三十七條第三項ニ據リ直ニ縣參事會ニ訴願ヲ爲スヘキモノトス(三九年第七二號 二九一〇一五宣告) 村會議員選舉取消處分ノ訴願不當却下ニ關スル訴

◎選舉效力ニ起因スル訴ニ於テ訴願期限起算點ノ當否ノミヲ爭フ事件ニ對シ出訴ヲ許ス法令ナシ(二八年第九九號 二九一〇一五裁決) 町會議員當選無効ニ屬スル縣參事會ノ裁決不服ノ訴

◎町村制第二十九條第三項ハ選舉ノ結果如何ニ拘ラス選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消スヘシトノ規定ナリ(二八年第七二號 二八一一一七宣告) 不當裁決取消ノ訴

◎選舉ノ效力ニ關スル訴訟ハ其選舉人中ヨリ訴願シタル以上ハ他ノ選舉人ハ何時ニテモ之ニ參加スルコトヲ得(二七年第六六號 二八一一一七宣告) 郡會議員選舉取消ノ訴ニ對スル妨訴抗辯

◎町村會カ訴願ニ對シ裁決ヲ爲スノ手續ニ關シテハ法律上特別ノ規定ナシ

(二六年第一二五號 二六二二一六宣告) 村會議員選舉取消請求ノ訴

◎改選議員ノ投票ト増加議員ノ投票トヲ區別セサル選舉ハ違法ナリ(二五年第一二四四號 二六四四一四宣告) 町會議員選舉取消ノ訴

選舉訴訟ノ目的物消滅ニ關スル判例

◎村會議員選舉ノ效力ニ關スル縣參事會ノ裁決ヲ不法トシ其取消ノ訴訟ヲ提起シタル後該選舉ニ於ケル當選者カ悉ク其職ヲ辭セシトキハ目的物消滅シタルモノトス從テ既往ニ遡リテ選舉會ノ適法ナリシヤ否ヲ判決スルノ要ナシ(三六年第二六九號 三七一四八宣告) 裁決取消ノ訴(一五輯三卷三〇九頁)

◎當選者タルコトヲ爭フ原告カ行政訴訟中議員ノ職ヲ辭シタルトキハ其訴訟ノ目的ハ消滅ニ歸ス(三三年第八八號 三三一一二二三宣告) 郡會議員當選取消ニ關スル縣參事會

ノ裁決不服ノ訴(四二卷七八頁)

◎請求ノ目的タル選舉カ他ノ判決ニ據リ無効ト確定シタルトキハ其訴訟ノ

目的物ハ消滅ニ歸ス(三〇年第二二二號 三一年第六二五宣告) 不法裁決取消ノ訴

◎選舉人名簿ニ瑕疵ヲ生スル原因トナリタル町村ノ一部カ町村境界變更ノ

結果他ノ町村ニ編入セラレ且其名簿ニ基キ選舉シタル議員カ同一ノ理由

ニ據リ當然議員タル資格ヲ失ヒタルトキハ其選舉取消ノ訴ハ原因ヲ失フ

モノトス(二七年第八號 二七年第五一宣告) 村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴

第三十條 當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ

其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ町村會之ヲ議決ス

◎村會議員ノ資格要件ノ有無ハ町村制第三十條ノ規定ニ依リ村會ノ議決ヲ

要スルモノトス故ニ村會議員ニシテ村稅滯納處分ヲ受ケ公民權ヲ停止セ

ラレタル者ト雖モ該議決以前ニ在リテハ村會ノ議事ニ參與スルコトヲ得

(三七年第一二七一號 三八一〇三〇宣告) 村稅賦課取消ノ訴(一六輯一〇卷八三四頁)

◎町村公民ニシテ名譽職ニ在ル者租稅滯納處分ヲ受ケタルトキハ其職務ヲ

行フコトヲ得サルモ當選資格要件ノ有無ハ町村制第三十條ニ依リ町村會

ノ議決ニ付セサルヘカラス(三七年第三〇四號 三八七七七宣告) 村稅賦課令狀取消ノ訴(一六輯八

卷六四〇頁)

◎町村會ハ町村組合會議員ノ資格喪失ヲ議決スルノ權能ナシ(三四年第二二〇號 三五三二七宣告)

村會議員資格ニ關スル縣參事會裁決不服ノ訴(五一卷一二四頁)

◎町村制第三十條ノ規定ニ基キテ町村會ノ爲シタル當選無効ノ議決ニ對ス

ル當選者ノ訴願ハ郡參事會ニ提出スヘキモノトス(三二年第四五號 三二一六六一六宣告) 町會議員

當選效力ニ關スル訴(三三〇卷九六頁)

第三十一條 小町村ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經町村條例ノ規定ニ依リ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有ス

ル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二款 職務權限及處務規程

第三十二條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前特ニ委任セラレ又ハ將

來法律勅令ニ依テ委任セラレル事件ヲ議決スルモノトス

第三十三條 町村會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ